

第3章 身体障害者生活状況調査（18歳以上）結果

第3章 身体障害者生活状況調査（18歳以上）結果

1. 基本的事項

(1) 年齢

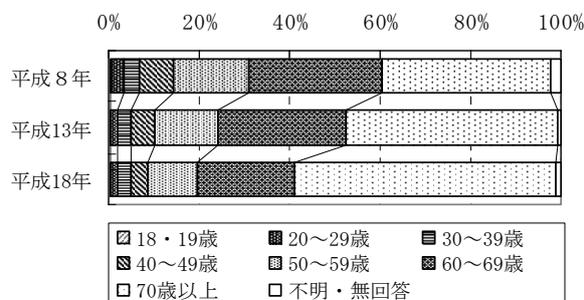
問1 あなたの年齢は満何歳ですか。

- ・ 今回調査では、「70歳以上」が全体の57.9%を占めている。
- ・ 経年的には、「70歳以上」の比率が増加傾向にあり、身体障害者の高齢化がますます進んでいる状況がうかがえる。

問1 年齢

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	
18・19歳	0.5	0.5	0.3	
20～29歳	2.9	1.5	1.7	
30～39歳	3.5	2.9	2.7	
40～49歳	7.5	5.3	3.8	
50～59歳	16.5	13.9	11.0	
60～64歳	29.4	12.4	9.8	21.5
65～69歳		15.8	11.7	
70歳以上	37.6	46.9	57.9	
不明・無回答	2.1	0.8	1.0	
合計	100.0	100.0	100.0	
N	996	951	879	



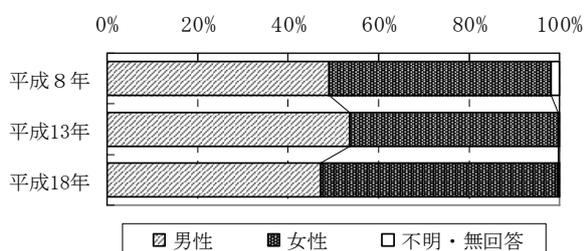
(2) 性別

問2 あなたの性別をお答えください。

- ・ 今回調査では、「男性」が47.1%、「女性」が52.6%となっており、「女性」の比率が少し高くなっている。
- ・ 前回調査と比べて「女性」の比率が増加しているが、前々回調査と比べると、ほぼ同様の状況となっている。

問2 性別

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
男性	49.2	53.5	47.1
女性	49.1	46.1	52.6
不明・無回答	1.7	0.4	0.3
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879



(3) 配偶者の状況

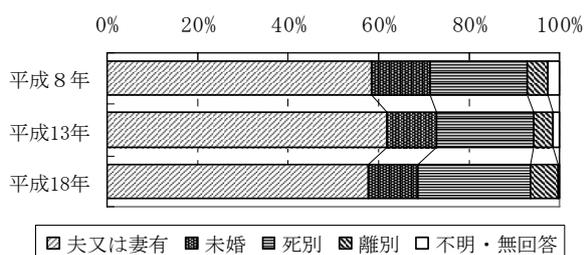
問3 あなたの夫又は妻の有無等についてお答えください。

- ・ 今回調査では、「夫又は妻有」が57.7%、「死別」が25.0%となっている。
- ・ 前回調査と比較して、「夫又は妻有」の比率は若干低下し、「死別」の比率が増加している。回答者の高齢化の影響によるものと考えられる。

問3 配偶者の状況

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
夫又は妻有	58.4	61.8	57.7
未婚	13.0	11.1	11.0
死別	21.3	21.2	25.0
離別	4.8	4.2	5.8
不明・無回答	2.5	1.6	0.5
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879



(4) 世帯の人数

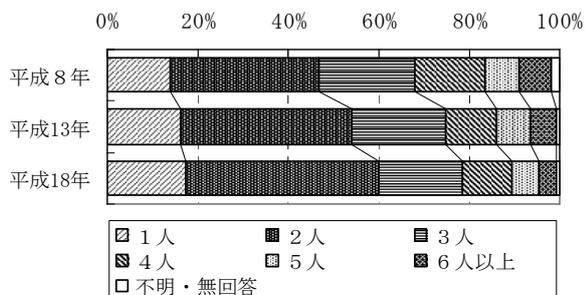
問4 あなたの世帯の人数は何人ですか。あなた自身を含めてお答えください。

- ・ 「1人」の単身世帯が17.2%、「2人」の世帯が43.0%となっており、この両者で全体の60.2%を占めている。
- ・ 経年的には、「1人」や「2人」の世帯が増加傾向にあり、核家族化が進んでいる様子が見える。

問4 世帯の人数

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
1人	13.8	16.2	17.2
2人	33.1	37.9	43.0
3人	21.1	20.6	18.4
4人	15.4	11.6	10.7
5人	7.7	7.5	6.3
6人以上	7.0	5.5	3.8
不明・無回答	1.9	0.8	0.7
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879



(5) 世帯の生計中心者

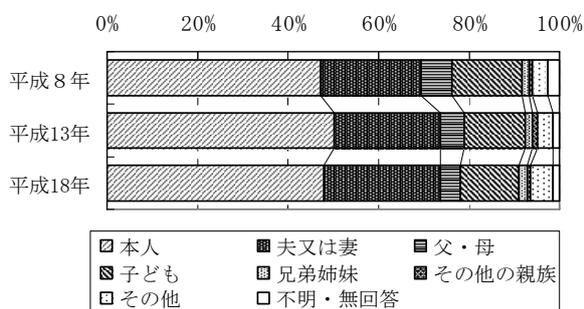
問5 あなたの世帯で主に家計を支えている方（生計中心者）はどなたですか。あなたからの続柄でお答えください。

- ・ 今回調査では、「本人」が47.8%、「夫又は妻」が25.7%を占めている。
- ・ 経年的には、前回調査と比較して、「本人」の比率が低下し、「夫又は妻」の比率が増加しているが、大きな変化は見られない。

問5 世帯の生計中心者

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
本人	47.3	50.3	47.8
夫又は妻	22.3	23.3	25.7
父・母*1	6.5	5.2	4.6
子ども	15.6	13.6	13.1
兄弟姉妹	1.4	1.8	1.6
その他の親族*2	0.8	1.1	0.7
その他	3.4	3.4	5.2
不明・無回答	2.7	1.4	1.4
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879



*1 平成18年以外は「父」「母」を足した数値

*2 平成18年以外は「祖父母」と「その他の親族」を足した数値

2. 障害の種類・程度・内容

(1) 障害の種類

問6 あなたの障害の種類は次のうちどれですか。お持ちの身体障害者手帳を見てお答えください。（障害が重複している方は、主な障害を1つお答えください。）

- ・ 今回調査では、「肢体不自由」が45.9%で最も多く、次いで「内部障害」が34.2%、「聴覚障害」が9.4%、「視覚障害」が6.8%と続いている。
- ・ 経年的には、「視覚障害」の比率の減少、「内部障害」の比率の増加が見られる。「内部障害」の具体的な障害の部位としては、「心臓」の比率が増加傾向にあることが分かる。

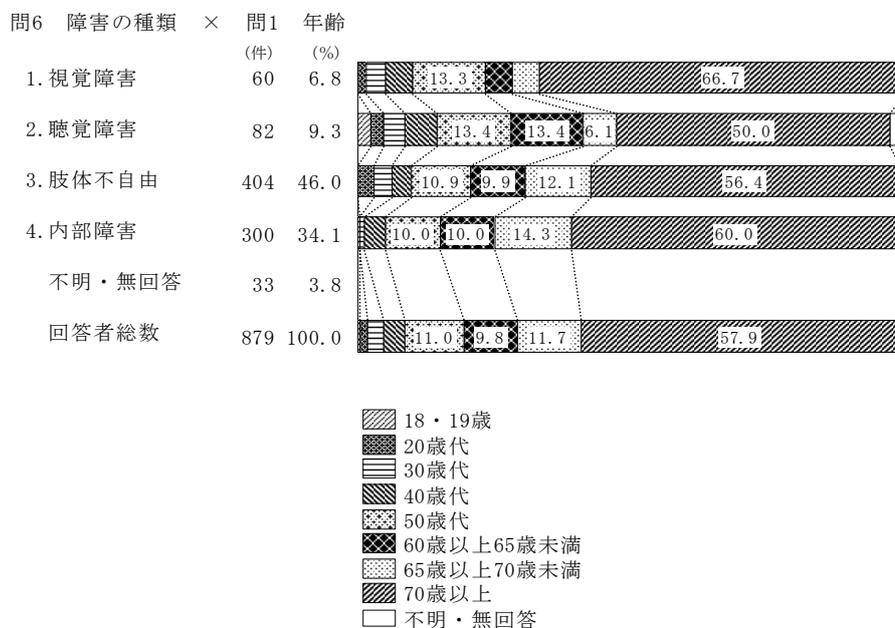
問6 障害の種類

(単位:%)

障害の種類	主な障害	平成8年		平成13年		平成18年	
視覚障害	視覚	10.9	10.9	7.5	7.5	6.8	6.8
聴覚障害	聴覚・言語	3.6	11.7	3.6	9.1	3.8	9.4
	聴覚・平衡	6.6		4.4		4.9	
	音声・言語等	1.5		1.1		0.7	
肢体不自由	片上肢	4.8	45.9	6.0	49.7	3.4	45.9
	両上肢	1.6		1.6		1.7	
	片下肢	10.1		9.8		10.8	
	両下肢	9.5		9.4		11.0	
	片上下肢	9.1		9.4		6.0	
	四肢	7.3		9.3		9.1	
	体幹等	3.5		4.2		3.9	
内部障害	心臓	15.3	27.5	19.3	29.8	22.9	34.2
	じん臓	5.3		5.2		4.8	
	呼吸器	2.8		3.5		2.3	
	ぼうこう等	4.1		1.7		4.0	
	小腸	0.0		0.1		0.2	
	免疫	-		0.0		0.0	
不明・無回答		4.0		3.9		3.8	
合計		100.0		100.0		100.0	
N		996		951		879	

第3章 身体障害者生活状況調査（18歳以上）結果

- ・ 障害の種類を年齢別に見ると、「視覚障害」は「70歳以上」が66.7%を占め、他の障害に比べると、「70歳以上」の高齢者の比率が高くなっている。なお、「65歳以上」の比率の高い障害を見ると、「内部障害」、「視覚障害」、「肢体不自由」、「聴覚障害」の順となっている。



(2) 障害の重複

問7 障害が重複している方は、「問6」でお答えいただいた種類以外のすべての障害の種類を「問6」で分類した1～17の項目から選んで、3つまでお答えください。

- ・ 重複障害の状況を見ると、今回調査では、「主な障害のみ」が73.4%、「二重障害」が12.4%、「三重障害」が8.6%、「四重障害」が5.6%となっている。
- ・ 経年的には、「主な障害のみ」の比率にあまり変化は見られないが、「二重障害」が微減傾向にあり、「三重障害」は微増傾向にある。

重複障害の状況

	主な障害のみ	二重障害	三重障害	四重障害	合計
平成8年調査	702 (74.5%)	139 (14.0%)	76 (7.6%)	39 (3.9%)	996 (100.0%)
平成13年調査	694 (73.0%)	130 (13.6%)	76 (8.0%)	51 (5.4%)	951 (100.0%)
平成18年調査	645 (73.4%)	109 (12.4%)	76 (8.6%)	49 (5.6%)	879 (100.0%)

* 各年とも重複している障害の種類が「不明・無回答」の場合は「重複なし」としてカウントした。

- ・ 主な重複障害を多いものから見ると、「音声・言語等」が5.8%、「両下肢」が4.8%、視覚」が4.4%、「体幹等」が4.0%などとなっている。
- ・ 経年的には、大きな変化は見られない。

問7 障害の重複（複数回答3）

（単位：%）

障害の種類	主な重複障害	平成8年		平成13年		平成18年	
視覚障害	視覚	4.5	4.5	3.7	3.7	4.4	4.4
聴覚障害	聴覚・言語	2.1	11.0	1.9	9.6	1.5	9.8
	聴覚・平衡	3.8		3.6		2.5	
	音声・言語等	5.1		4.1		5.8	
肢体不自由	片上肢	2.5	25.5	2.3	21.7	3.1	22.1
	両上肢	2.5		2.2		2.5	
	片下肢	4.0		3.5		3.5	
	両下肢	4.9		4.6		4.8	
	片上下肢	3.2		2.5		1.8	
	四肢	2.9		2.0		2.4	
	体幹等	5.5		4.6		4.0	
内部障害	心臓	5.0	11.2	4.7	11.0	3.1	10.2
	じん臓	2.0		2.0		2.3	
	呼吸器	1.8		2.0		2.2	
	ぼうこう等	2.0		2.0		2.4	
	小腸	0.4		0.1		0.1	
	免疫	-		0.2		0.1	
不明・無回答		71.3		73.0		73.4	
合計		123.5		119.0		119.8	
N		996		951		879	

第3章 身体障害者生活状況調査（18歳以上）結果

- ・ 障害の種類別に重複している障害の内容を見ると、「視覚障害」の場合は「肢体不自由」との重複が多く、「肢体不自由」の場合は「肢体不自由」との重複、「内部障害」の場合は「肢体不自由」との重複が多くなっている。実数では「肢体不自由」と「肢体不自由」の重複が多くなっている。

問6 障害の種類 × 問7 障害の重複（複数回答3）

上段：実数（件）
下段：横構成比（%）

問6	問7	障害の重複（複数回答3）				不明・無回答	回答者総数
		1. 視覚障害	2. 聴覚障害	3. 肢体不自由	4. 内部障害		
障害の種類	1. 視覚障害	0 0.0	4 6.7	10 16.7	4 6.7	49 81.7	60 100.0
	2. 聴覚障害	4 4.9	6 7.3	6 7.3	6 7.3	68 82.9	82 100.0
	3. 肢体不自由	23 5.7	60 14.9	131 32.4	51 12.6	259 64.1	404 100.0
	4. 内部障害	12 4.0	16 5.3	44 14.7	28 9.3	238 79.3	300 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	3 9.1	0 0.0	31 93.9	33 100.0
	回答者総数	39 4.4	86 9.8	194 22.1	89 10.1	645 73.4	879 100.0

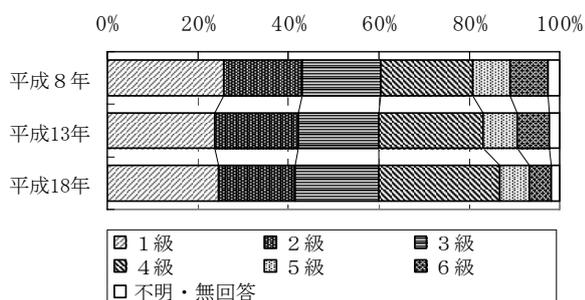
(3) 身体障害者手帳の等級

問8 お持ちの身体障害者手帳の等級（障害の程度）は何級ですか。身体障害者手帳を見て、お答えください。

- ・ 今回調査では、「1級」が24.3%、「2級」が17.1%、「3級」が18.7%、「4級」が26.6%、「5級」が6.5%、「6級」が5.0%となっており、「1級」と「2級」を合わせると、41.4%を占めている。

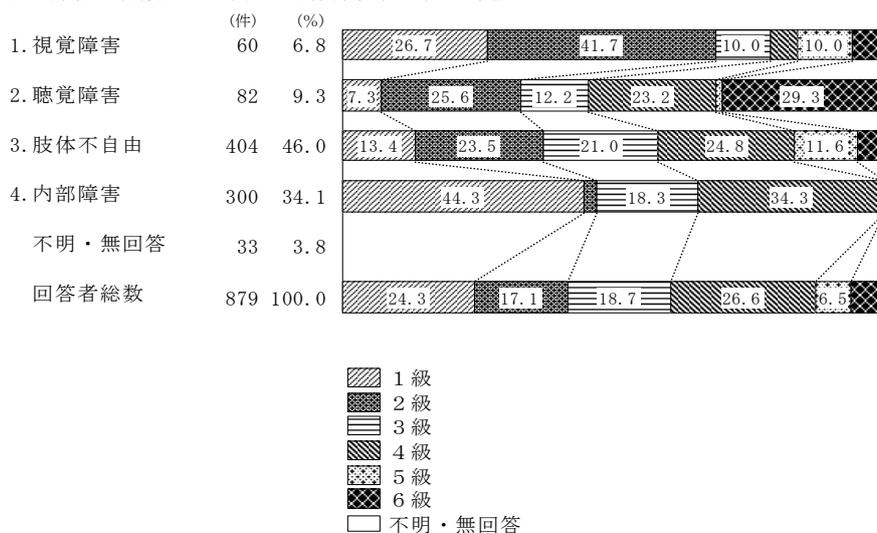
問8 身体障害者手帳の等級

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
1級	25.5	23.7	24.3
2級	17.5	18.4	17.1
3級	17.4	17.8	18.7
4級	20.4	23.3	26.6
5級	8.4	7.4	6.5
6級	8.1	7.0	5.0
不明・無回答	2.7	2.4	1.8
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879



- ・ 障害の種類別で見ると、「内部障害」において「1級」の比率が高く、「視覚障害」では「2級」の比率が、「聴覚障害」では「6級」の比率が高くなっている。「肢体不自由」では、「2級」～「4級」がそれぞれ20%強の比率を示している。

問6 障害の種類 × 問8 身体障害者手帳の等級



(4) 障害を受けた原因

問9 身体に障害を受けた主な原因は何ですか。主な原因を1つお答えください。

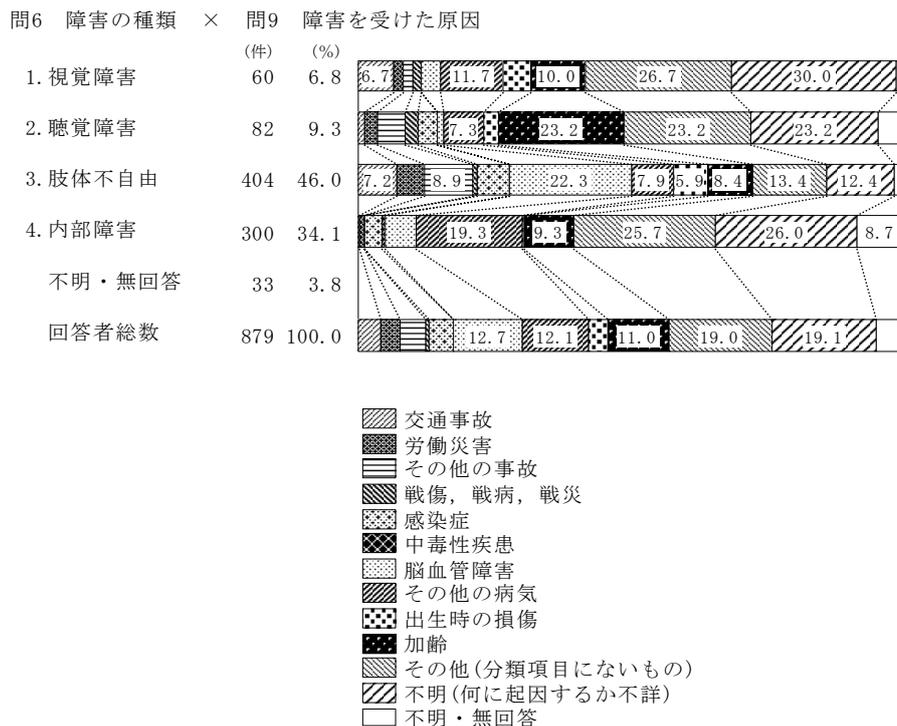
- ・ 「不明（何に起因するか不詳）」が19.1%、「その他（分類項目にないもの）」が19.0%、「脳血管障害」が12.7%、「その他の病気」が12.1%などと続いている。
- ・ 経年的には、大きな変動のある項目は見られない。

問9 障害を受けた原因

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
交通事故	5.5	5.2	4.2
労働災害	4.2	4.7	3.5
その他の事故	3.5	5.6	4.7
戦傷, 戦病, 戦災	1.2	1.3	0.8
感染症	3.5	2.5	4.2
中毒性疾患	0.4	0.2	0.1
脳血管障害	13.6	15.8	12.7
その他の病気	11.8	11.8	12.1
出生時の損傷	4.2	4.1	3.4
加齢	-	9.6	11.0
その他(分類項目にないもの)	28.3	17.9	19.0
不明(何に起因するか不詳)	16.2	16.6	19.1
不明・無回答	7.5	4.8	5.1
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879

- ・ 障害の種類別で見ると、「視覚障害」においては「不明（何に起因するか不詳）」、「その他（分類項目にないもの）」の比率が高くなっている。「聴覚障害」においては「加齢」，「その他（分類項目にないもの）」，「不明（何に起因するか不詳）」の比率が，「肢体不自由」では「脳血管障害」の比率が，「内部障害」では「不明（何に起因するか不詳）」，「その他（分類項目にないもの）」の比率が高くなっている。



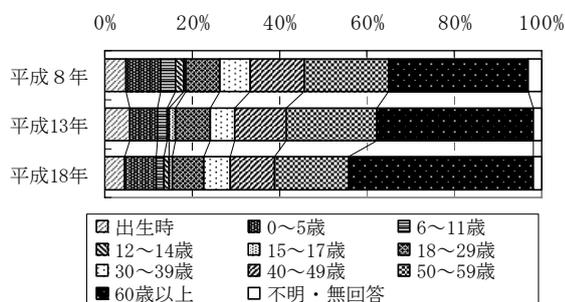
(5) 障害を受けた時期

問10 障害を受けた時期はいつですか。（最初に障害が発生したときの満年齢をお答えください。病気の場合は発病時を意味します。）

- ・ 今回調査では、「60歳以上」が42.1%で最も多く、次いで「50～59歳」が17.2%、「40～49歳」が10.1%と続いている。
- ・ 経年的には、「60歳以上」の比率が増加する傾向にあり、高齢になってからの障害の発生が増えている。

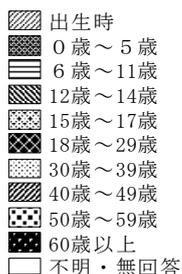
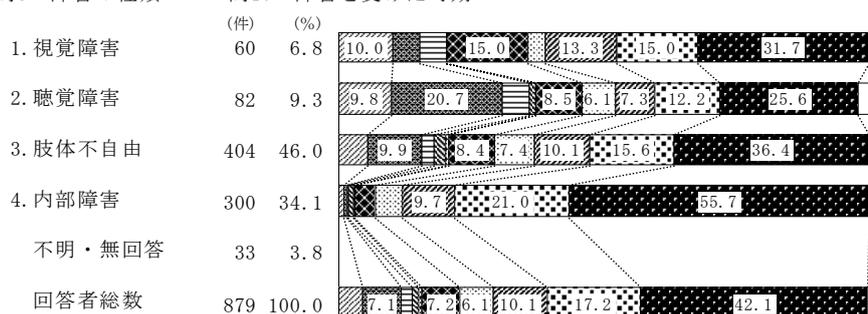
問10 障害を受けた時期

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
出生時	5.0	5.6	4.6
0～5歳	7.8	6.5	7.1
6～11歳	3.5	2.1	2.0
12～14歳	1.7	0.7	1.3
15～17歳	0.6	1.4	0.5
18～29歳	7.8	7.7	7.2
30～39歳	6.8	5.7	6.1
40～49歳	12.3	11.8	10.1
50～59歳	19.3	20.7	17.2
60歳以上	31.9	36.2	42.1
不明・無回答	3.1	1.7	1.9
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879



- ・ 障害の種類別では、「内部障害」において「50～59歳」や「60歳以上」の比率が特に高くなっており、他の障害と大きな違いとなっている。

問6 障害の種類 × 問10 障害を受けた時期



(6) 療育手帳等の有無

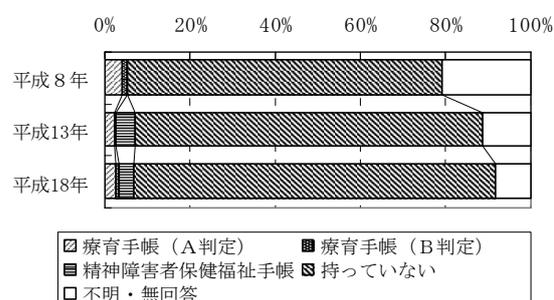
問11 あなたは、次の手帳をお持ちですか。

- ・ 今回調査では、「持っていない」が84.9%と最も多くなっている。「療育手帳（A判定）」保持者は2.6%、「療育手帳（B判定）」保持者が0.7%、「精神障害者保健福祉手帳」保持者は3.4%となっている。
- ・ 経年的には「持っていない」の比率が増加傾向にある。

問11 療育手帳等の有無

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
療育手帳（A判定）	4.3	2.1	2.6
療育手帳（B判定）	1.1	0.5	0.7
精神障害者保健福祉手帳	-	4.4	3.4
持っていない	74.0	81.6	84.9
不明・無回答	20.6	11.4	8.4
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879



3. 生活の状況

(1) 日常生活動作（IADL）の状況

問12 あなたの日常生活の動作についておたずねします。
 あなたは次の(1)～(8)までの動作が一人でできますか。次の各動作ごとに、いずれか1つ、番号を選んでお答えください。（この場合、「できる」、「できない」の判断は現に所持している補装具や自助具をつけた状態で判断してください。）

1. 介助の必要なし 2. 一部介助が必要 3. 全部介助が必要

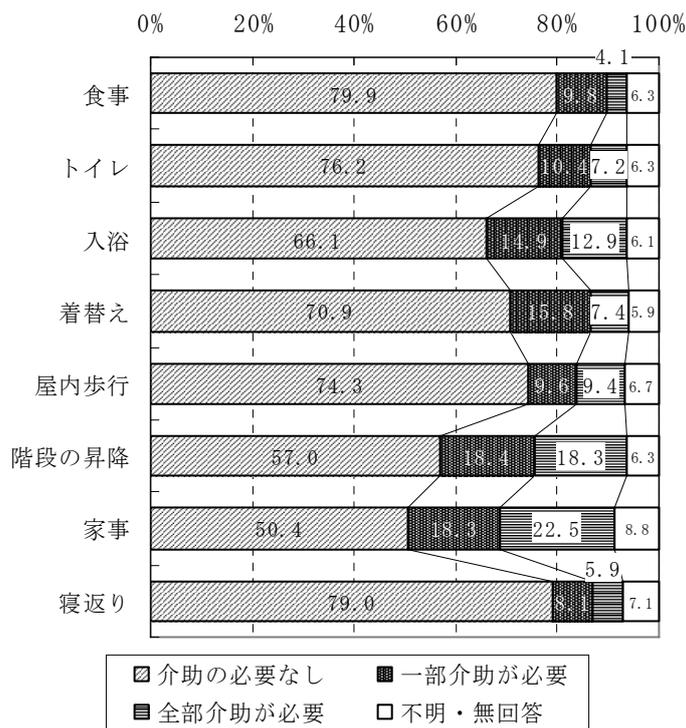
(1) 食事をする
 (2) トイレに行く
 (3) 入浴をする
 (4) 着替えをする
 (5) 家の中を歩く
 (6) 階段を昇り降りする
 (7) 家事（炊事・掃除・洗濯など）をする
 (8) 寝返りをする

- ・ 日常生活動作（IADL）の中で「何らかの介助が必要」（一部介助が必要＋全部介助が必要）とする人の割合が高いものは、「家事」で40.8%、次いで、「階段の昇降」が36.7%、「入浴」が27.8%、「着替え」が23.2%、「屋内歩行」が19.0%などと続いている。
- ・ 経年的には、大きな変化が見られる項目はない。
- ・ 障害の種類別に見ると、「肢体不自由」、「視覚障害」において、「家事」、「階段の昇降」、「入浴」、「着替え」、「屋内歩行」などの介助の必要性が、「聴覚障害」、「内部障害」と比べて高くなっている。

問12 日常生活動作の状況

(単位:%)

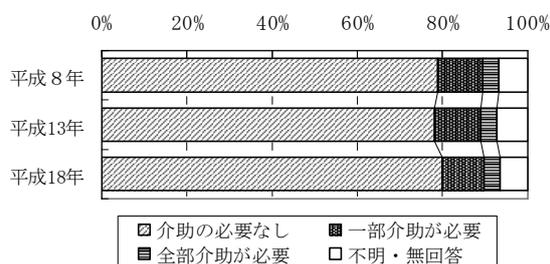
	食事		トイレ		入浴		着替え		屋内歩行		階段の昇降		家事		寝返り	
介助の必要なし	79.9		76.2		66.1		70.9		74.3		57.0		50.4		79.0	
一部介助が必要	9.8	13.9	10.4	17.6	14.9	27.8	15.8	23.2	9.6	19.0	18.4	36.7	18.3	40.8	8.1	14.0
全部介助が必要	4.1		7.2		12.9		7.4		9.4		18.3		22.5		5.9	
不明・無回答	6.3		6.3		6.1		5.9		6.7		6.3		8.8		7.1	
合計	100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0	
N	879		879		879		879		879		879		879		879	



問12(1) 日常生活動作の状況（食事）

(単位:%)

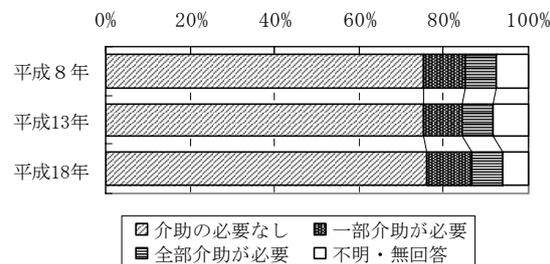
	平成8年		平成13年		平成18年	
介助の必要なし	78.7		78.3		79.9	
一部介助が必要	10.6	14.3	10.9	14.4	9.8	13.9
全部介助が必要	3.7		3.5		4.1	
不明・無回答	6.9		7.3		6.3	
合計	100.0		100.0		100.0	
N	996		951		879	



問12(2) 日常生活動作の状況（トイレ）

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
介助の必要なし	75.1	75.3	76.2
一部介助が必要	9.9	9.1	10.4
全部介助が必要	7.4	7.2	7.2
不明・無回答	7.5	8.4	6.3
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879

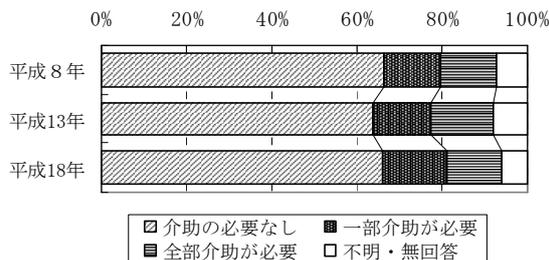


第3章 身体障害者生活状況調査（18歳以上）結果

問12(3) 日常生活動作の状況（入浴）

(単位:%)

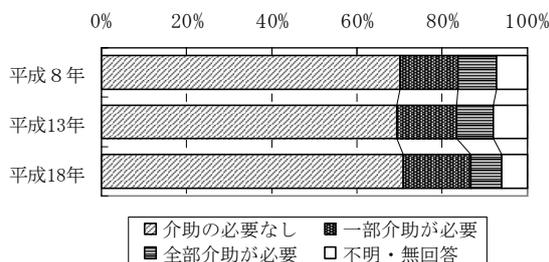
	平成8年		平成13年		平成18年	
介助の必要なし	66.5		63.9		66.1	
一部介助が必要	13.3	26.4	13.6	28.1	14.9	27.8
全部介助が必要	13.1		14.5		12.9	
不明・無回答	7.2		8.0		6.1	
合計	100.0		100.0		100.0	
N	996		951		879	



問12(4) 日常生活動作の状況（着替え）

(単位:%)

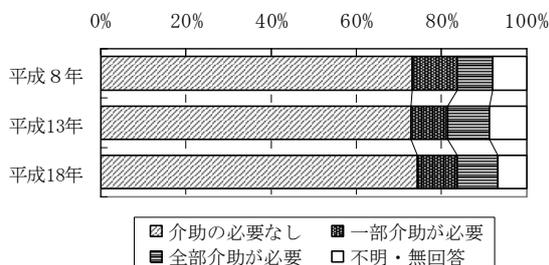
	平成8年		平成13年		平成18年	
介助の必要なし	70.2		69.5		70.9	
一部介助が必要	13.4	22.5	13.8	22.6	15.8	23.2
全部介助が必要	9.1		8.8		7.4	
不明・無回答	7.3		7.9		5.9	
合計	100.0		100.0		100.0	
N	996		951		879	



問12(5) 日常生活動作の状況（屋内歩行）

(単位:%)

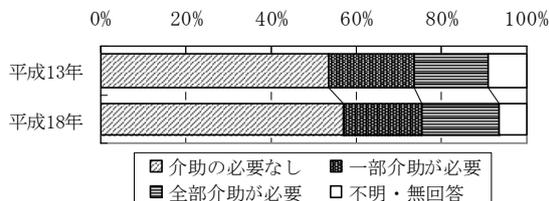
	平成8年		平成13年		平成18年	
介助の必要なし	73.0		72.7		74.3	
一部介助が必要	10.6	18.9	8.8	18.5	9.6	19.0
全部介助が必要	8.3		9.7		9.4	
不明・無回答	8.0		8.8		6.7	
合計	100.0		100.0		100.0	
N	996		951		879	



問12(6) 日常生活動作の状況（階段の昇降）

(単位:%)

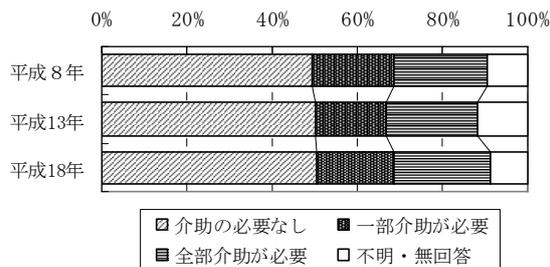
	平成13年		平成18年	
介助の必要なし	53.7		57.0	
一部介助が必要	20.0	37.4	18.4	36.7
全部介助が必要	17.4		18.3	
不明・無回答	8.9		6.3	
合計	100.0		100.0	
N	951		879	



問12(7) 日常生活動作の状況（家事）

(単位:%)

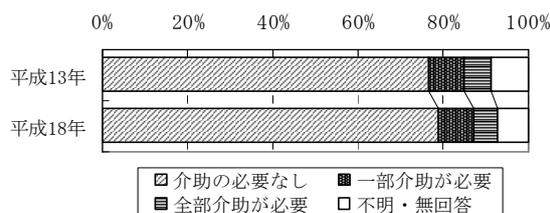
	平成8年	平成13年	平成18年
介助の必要なし	49.6	50.2	50.4
一部介助が必要	18.9	16.8	18.3
全部介助が必要	21.9	21.5	22.5
不明・無回答	9.6	11.6	8.8
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879



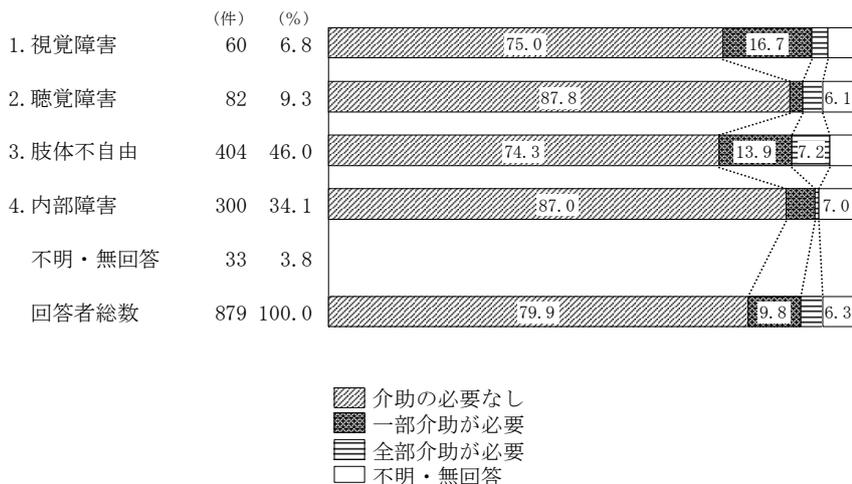
問12(8) 日常生活動作の状況（寝返り）

(単位:%)

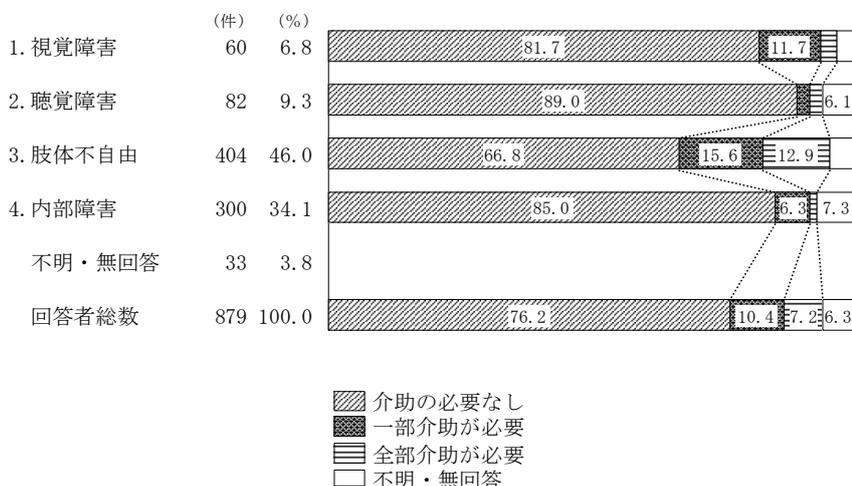
	平成13年	平成18年
介助の必要なし	76.4	79.0
一部介助が必要	8.5	8.1
全部介助が必要	6.4	5.9
不明・無回答	8.6	7.1
合計	100.0	100.0
N	951	879



問6 障害の種類 × 問12(1) 日常生活動作の状況（食事）

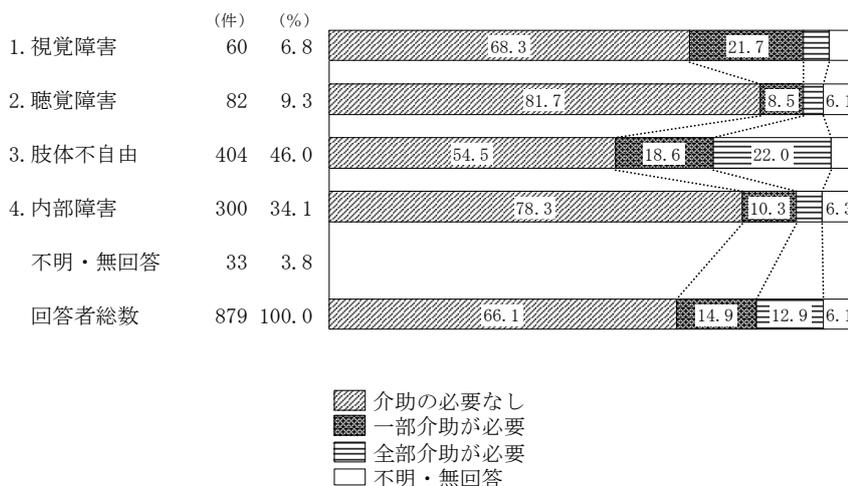


問6 障害の種類 × 問12(2) 日常生活動作の状況（トイレ）

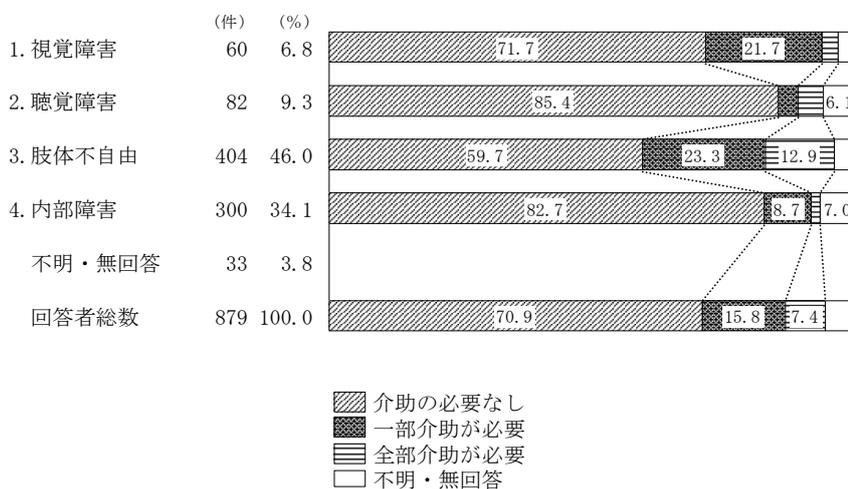


第3章 身体障害者生活状況調査（18歳以上）結果

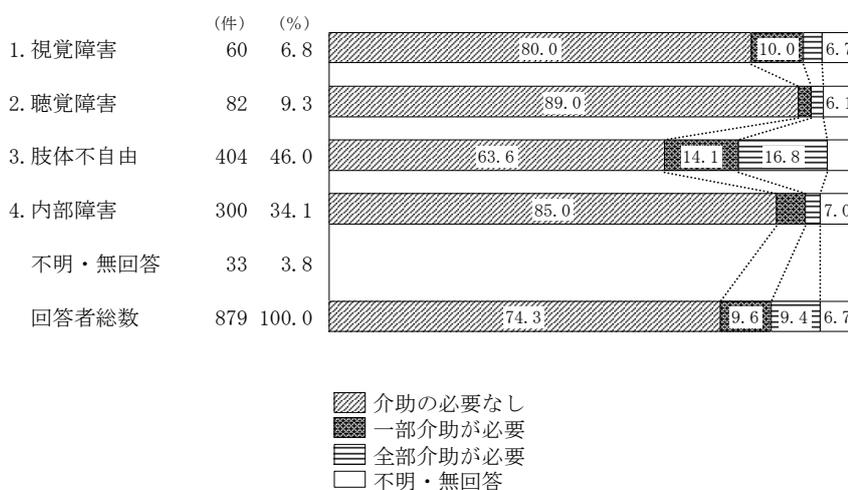
問6 障害の種類 × 問12(3) 日常生活動作の状況（入浴）



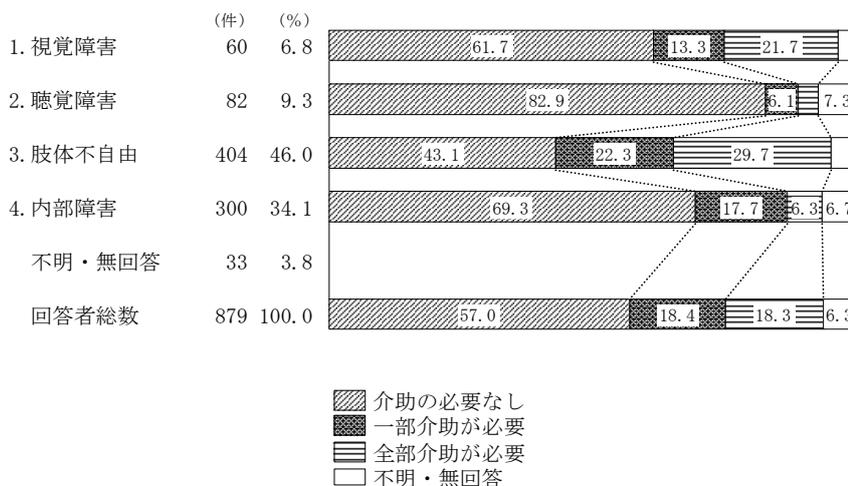
問6 障害の種類 × 問12(4) 日常生活動作の状況（着替え）



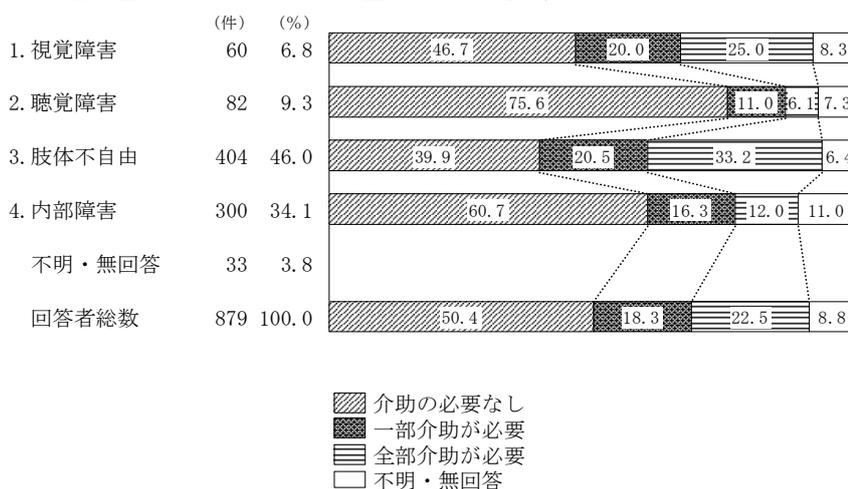
問6 障害の種類 × 問12(5) 日常生活動作の状況（屋内歩行）



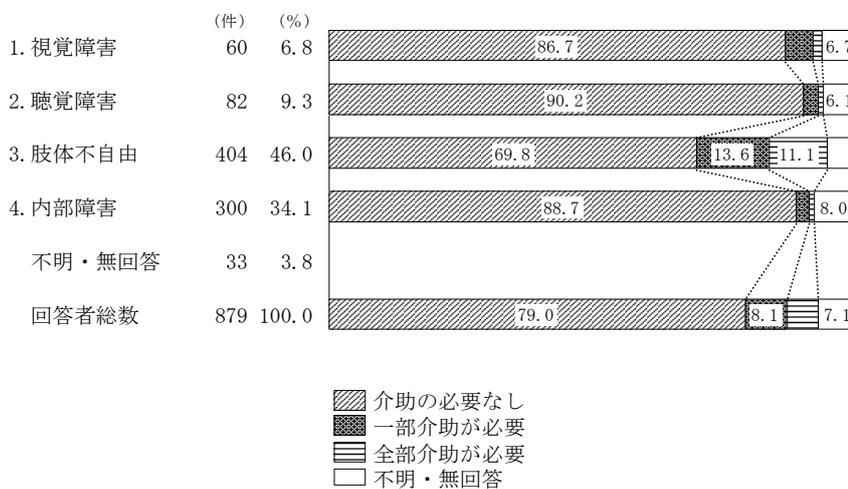
問6 障害の種類 × 問12(6) 日常生活動作の状況（階段の昇降）



問6 障害の種類 × 問12(7) 日常生活動作の状況（家事）



問6 障害の種類 × 問12(8) 日常生活動作の状況（寝返り）



(2) 主な介助者の状況

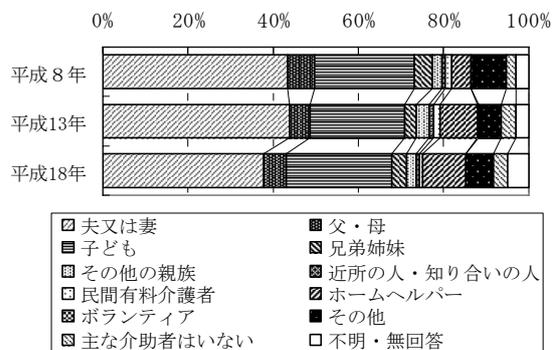
7 主な介助者

問13-1 「問12」で1つでも「2. 一部介助が必要」「3. 全部介助が必要」と答えられた方 あなたの主な介助者は、どなたですか。

- ・ 今回調査では、「夫又は妻」が37.6%で最も多く、次いで「子ども」が24.6%、「ホームヘルパー」が10.1%と続いている。
- ・ 前回調査と比べて、「夫又は妻」の比率が減少し、「子ども」や「ホームヘルパー」の比率が増加している。

問13-1 主な介助者

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
夫又は妻	43.4	43.9	37.6
父・母*1	6.4	4.7	5.6
子ども	23.5	22.2	24.6
兄弟姉妹	4.2	2.6	3.5
その他の親族*2	2.0	3.2	2.1
近所の人・知り合いの人	0.9	1.3	0.7
民間有料介護者	1.3	1.5	0.9
ホームヘルパー	4.6	8.6	10.1
ボランティア	-	0.2	0.2
その他	8.4	5.4	6.1
主な介助者はいない	2.2	3.2	3.5
不明・無回答	3.1	3.2	4.9
合計	100.0	100.0	100.0
N	452	465	426



*1 平成13年は「父」「母」を足した数値

*2 平成18年以外は「祖父母」と「その他の親族」を足した数値

イ 主な介助者の年齢

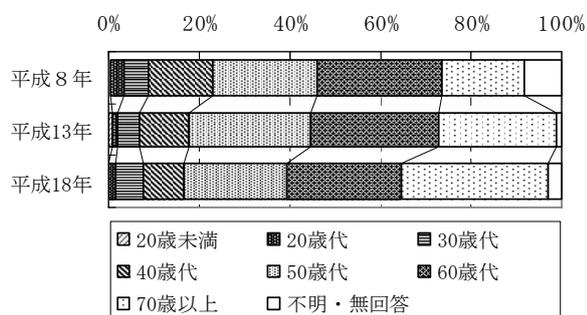
問13-2-1（「問13-1」で、「1. 夫又は妻」から「5. その他の親族」までのいずれかにお答えの方）あなたの主な介助者の年齢は、おいくつですか。

- ・ 今回調査では、「70歳以上」が32.6%、「60歳代」が25.2%、「50歳代」が22.7%となっている。60歳以上の比率は57.8%と6割近くに達しており、高齢の介助者が多いことが分かる。
- ・ 経年的には、「60歳以上」の比率が増加傾向にある。

問13-2-1 主な介助者の年齢

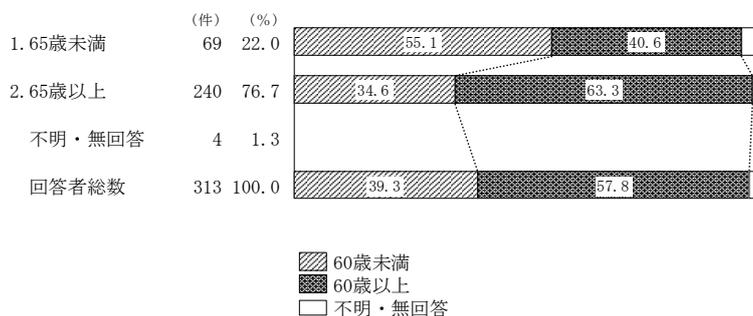
(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
20歳未満	0.2	0.8	0.0
20歳代	3.3	1.1	1.6
30歳代	5.1	4.8	6.1
40歳代	14.4	11.2	8.9
50歳代	23.0	26.4	22.7
60歳代	27.4	28.4	25.2
70歳以上	18.1	26.1	32.6
不明・無回答	8.4	1.1	2.9
合計	100.0	100.0	100.0
N	452	356	313



- ・ 本人の年齢と主な介助者の年齢の関係を見ると、本人が「65歳未満」の場合においては、介助者の年齢が「60歳以上」の比率は40.6%であるのに対し、本人が「65歳以上」の場合は、介助者の年齢が「60歳以上」の比率は63.3%と高くなり、高齢者が高齢者を介助している状況がうかがえる。

問1 年齢 × 問13-2-1 主な介助者の年齢

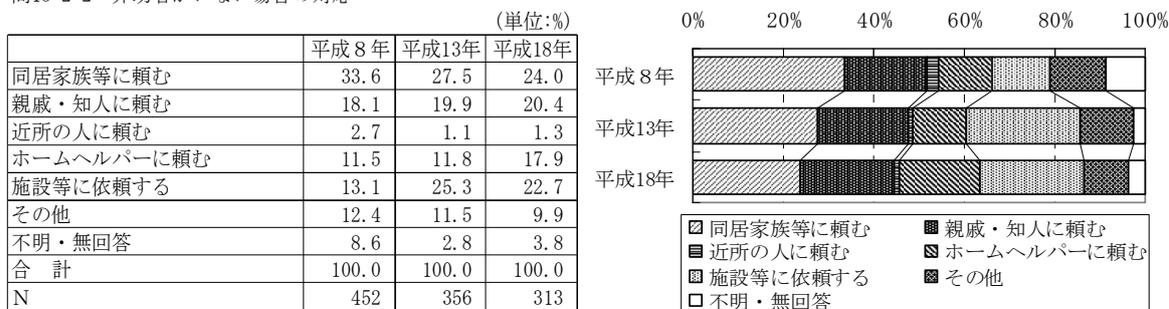


ウ 介助者がいない場合の対応

問13-2-2（「問13-1」で、「1. 夫又は妻」から「5. その他の親族」までのいずれかにお答えの方）あなたのご家庭では、あなたのお世話をなさっている方が万一急病、事故、出産などのため、一時的にお世話ができなくなった場合、どうすることになっていますか。

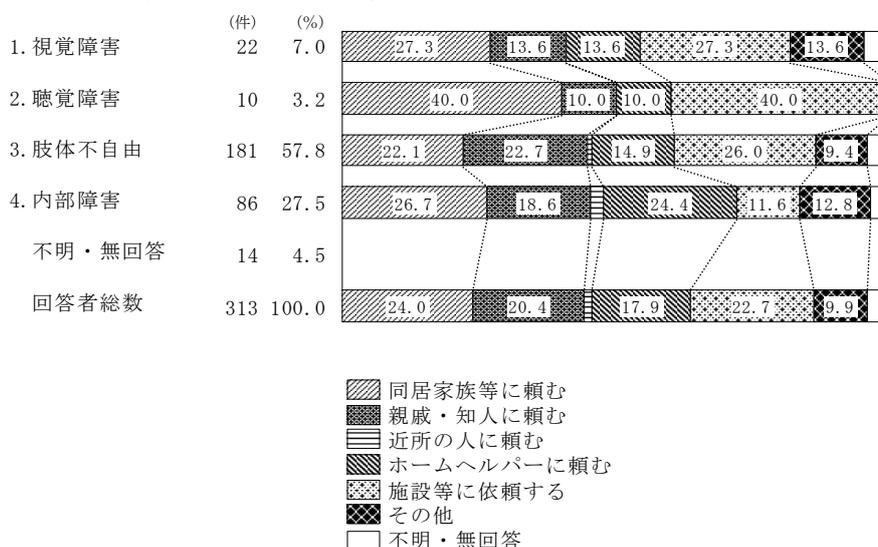
- ・ 今回調査では、「同居家族等に頼む」が24.0%で最も多く、次いで「施設等に依頼する」が22.7%、「親戚・知人に頼む」が20.4%などと続いている。
- ・ 経年的には、前回調査と比較して「同居家族等に頼む」や「施設等に依頼する」の比率は減少しているが、その一方で「ホームヘルパーに頼む」の比率が増加傾向にあることが分かる。

問13-2-2 介助者がいない場合の対応



- ・ 障害の種類別で見ると、「視覚障害」及び「聴覚障害」において「同居家族等に頼む」と「施設等に依頼する」の比率が高く、「肢体不自由」では「施設等に依頼する」，「親戚・知人に頼む」，「同居家族等に頼む」の比率が20%を超えて高くなっている。また，「内部障害」では「同居家族等に頼む」，「ホームヘルパーに頼む」の比率が20%を超えている。

問6 障害の種類 × 問13-2-2 介助者がいない場合の対応



(3) 短期入所（ショートステイ）の利用状況

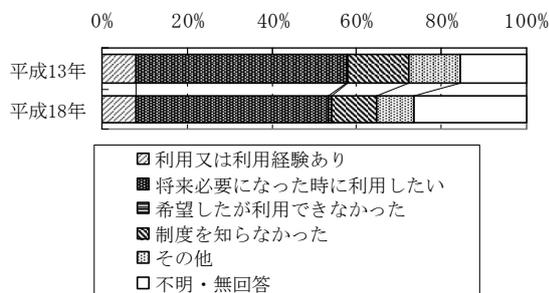
7 利用状況

問14 短期入所（ショートステイ）の利用についておたずねします。あなたは短期入所（ショートステイ）を利用されたことがありますか。

- ・ 今回調査においては、「将来必要になった時に利用したい」が45.4%で最も多く、次いで「制度を知らなかった」が10.7%などと続いている。
- ・ 前回調査と比べると、「不明・無回答」が多くなっているが、全体的な傾向に大きな違いは見られない。

問14 短期入所（ショートステイ）の利用状況

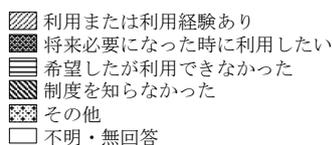
	(単位:%)	
	平成13年	平成18年
利用又は利用経験あり	7.9	7.8
将来必要になった時に利用したい	49.5	45.4
希望したが利用できなかった	0.6	0.9
制度を知らなかった	14.5	10.7
その他	11.9	8.5
不明・無回答	15.6	26.6
合計	100.0	100.0
N	951	879



- ・ 障害の種類別で見ると、「視覚障害」、「肢体不自由」、「内部障害」で「将来必要になった時に利用したい」の比率が5割近くを占めている。

問6 障害の種類 × 問14 短期入所（ショートステイ）の利用状況

障害の種類	(件)	(%)	利用または利用経験あり	将来必要になった時に利用したい	希望したが利用できなかった	制度を知らなかった	その他	不明・無回答
1. 視覚障害	60	6.8	50.0	13.3	11.7			21.7
2. 聴覚障害	82	9.3	8.5	32.9	12.2	9.8		36.6
3. 肢体不自由	404	46.0	11.4	47.5	10.6	8.9		19.8
4. 内部障害	300	34.1	47.3	9.3	7.3			32.0
不明・無回答	33	3.8						
回答者総数	879	100.0	7.8	45.4	10.7	8.5		26.6



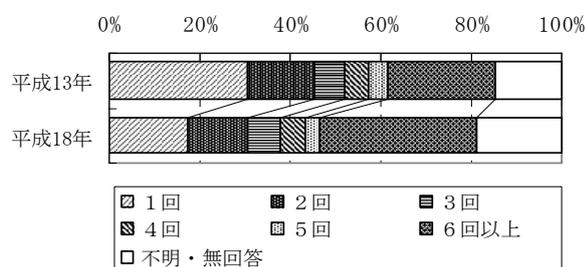
イ 年間の利用回数

問15-1 「問14」で、短期入所（ショートステイ）を「1. 現在、利用している。または利用したことがある」とお答えの方 過去1年間にどの程度利用しましたか。

- ・ 今回調査では、「6回以上」が34.8%で最も多く、次いで「1回」が17.4%、「2回」が13.0%などと続いている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて「6回以上」の比率が増加し、「1回」の比率が減少しており、利用頻度が高くなっていることが分かる。

問15-1 短期入所の年間の利用回数
(単位:%)

	平成13年	平成18年
1回	30.7	17.4
2回	14.7	13.0
3回	6.7	7.2
4回	5.3	5.8
5回	4.0	2.9
6回以上	24.0	34.8
不明・無回答	14.7	18.8
合計	100.0	100.0
N	75	69



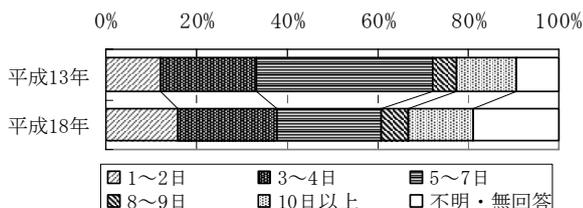
ウ 利用平均日数

問15-2 「問14」で、短期入所（ショートステイ）を「1. 現在、利用している。または利用したことがある」とお答えの方 1回あたり平均して何日程度利用しましたか。

- ・ 今回調査では、「5～7日」が23.2%、「3～4日」が21.7%、「1～2日」が15.9%、「10日以上」が14.5%となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「5～7日」の比率が減少しており、「1～2日」や「10日以上」の比率が微増している。

問15-2 短期入所の利用平均日数
(単位:%)

	平成13年	平成18年
1～2日	12.0	15.9
3～4日	21.3	21.7
5～7日	38.7	23.2
8～9日	5.3	5.8
10日以上	13.3	14.5
不明・無回答	9.3	18.8
合計	100.0	100.0
N	75	69



(4) ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用状況

7 利用状況

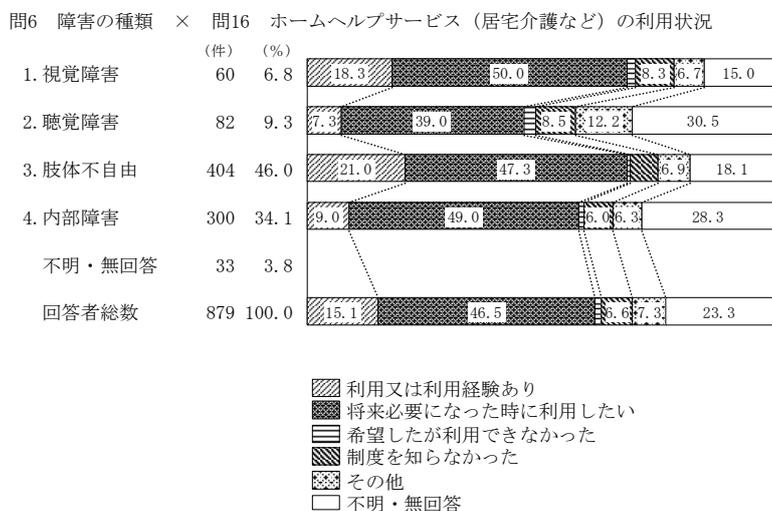
問16 ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用についておたずねします。あなたはホームヘルプサービスを利用されたことがありますか。

- ・ 今回調査では、「将来必要になった時に利用したい」が46.5%で最も多く、次いで「利用又は利用経験あり」が15.1%と続いている。
- ・ 経年的には、「利用又は利用経験あり」の比率が増加傾向にあり、「将来必要になった時に利用したい」は前回調査と比べて低下している。また、「希望したが利用できなかった」、「制度を知らなかった」、「その他」の合計比率も低下している。

問16 ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用状況



- ・ 障害の種類別では、「利用又は利用経験あり」の比率は、「視覚障害」と「肢体不自由」で高く、「将来必要になった時に利用したい」は「視覚障害」、「内部障害」、「肢体不自由」で高くなっている。



イ ホームヘルパーに手伝ってほしいこと

問17-1 「問16」で、ホームヘルプサービスを「1. 現在、利用している。または利用したことがある」または「2. 将来、必要になった時に利用したい」とお答えの方）ホームヘルパーに手伝ってほしいことは何ですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「家事の介助」が63.7%、「介護者不在の時の世話」が57.7%、「外出の介助」が38.2%、「入浴の介助」が30.6%などと続いている。
- ・ 前回調査と比べて「家事の介助」や「介護者不在の時の世話」、「外出の介助」などの比率が増加しているものの、前々回調査の比率に戻っている状況がうかがえる。

問17-1 ホームヘルパーに手伝ってほしいこと〈複数回答3〉
(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
食事の介助	14.0	11.5	11.8
トイレの介助	14.4	11.5	14.0
入浴の介助	34.2	33.0	30.6
着替えの介助	4.2	7.1	6.6
家事の介助	62.6	49.0	63.7
外出の介助	32.1	33.8	38.2
介護者不在の時の世話	55.8	49.4	57.7
話し相手*	15.9	12.1	—
不明・無回答	8.2	18.4	10.1
合計	241.4	225.8	232.8
N	527	618	542

* 平成18年度は項目削除

- ・ 障害の種類別で見ると、「視覚障害」、「肢体不自由」、「内部障害」においては、「家事の介助」が60%を上回る比率を示しているが、「聴覚障害」では、50%強の比率となっており、他の障害に比べてその比率は低くなっている。また、「視覚障害」と「内部障害」では、「介護者がいない時の世話」が60%強の比率となっているが、「聴覚障害」と「肢体不自由」では50%強の比率となっている。さらに、「肢体不自由」では、「入浴の介助」のニーズが他の障害に比べて高くなっている。

問6 障害の種類 × 問17-1 ホームヘルパーに手伝ってほしいこと〈複数回答3〉

上段：実数（件）
下段：横構成比（%）

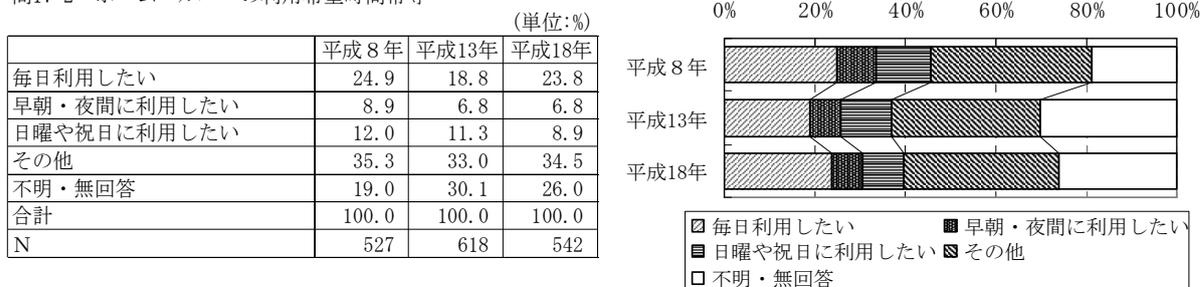
問17-1		ホームヘルパーに手伝ってほしいこと〈複数回答3〉							不明・無回答	回答者総数
問6		1. 食事の介助	2. トイレの介助	3. 入浴の介助	4. 着替えの介助	5. 家事の介助	6. 外出の介助	7. 介護者がいない時の世話		
障害の種類	1. 視覚障害	9 22.0	6 14.6	11 26.8	0 0.0	28 68.3	22 53.7	26 63.4	1 2.4	41 100.0
	2. 聴覚障害	8 21.1	6 15.8	10 26.3	0 0.0	20 52.6	11 28.9	20 52.6	7 18.4	38 100.0
	3. 肢体不自由	28 10.1	46 16.7	97 35.1	31 11.2	178 64.5	111 40.2	149 54.0	23 8.3	276 100.0
	4. 内部障害	19 10.9	17 9.8	43 24.7	5 2.9	110 63.2	58 33.3	110 63.2	23 13.2	174 100.0
	不明・無回答	0 0.0	1 7.7	5 38.5	0 0.0	9 69.2	5 38.5	8 61.5	1 7.7	13 100.0
	回答者総数	64 11.8	76 14.0	166 30.6	36 6.6	345 63.7	207 38.2	313 57.7	55 10.1	542 100.0

ウ ホームヘルパーの利用希望時間帯等

問17-2 「問16」で、ホームヘルプサービスを「1. 現在、利用している。または利用したことがある」または「2. 将来、必要になった時に利用したい」とお答えの方) ホームヘルパーを特にどのように利用したいですか。主なものを1つお答えください。

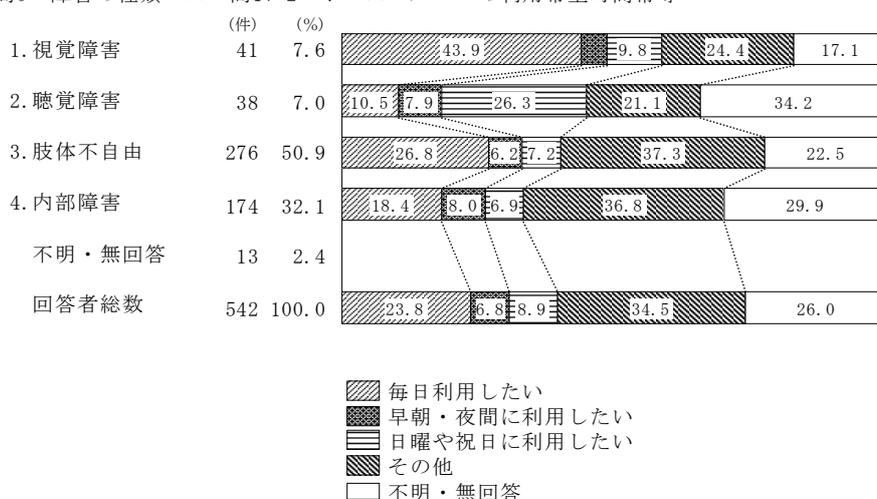
- ・ 今回調査では、「その他」が34.5%で最も多く、次いで「毎日利用したい」が23.8%と続いている。なお、「その他」の具体的内容としては、「必要なとき」、「介護者がいないとき」、「体調が悪いとき」、「緊急のとき」などである。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて「毎日利用したい」の比率が増加し、前々回調査の比率に戻っている。また、「日曜や祝日に利用したい」の比率は減少傾向にある。

問17-2 ホームヘルパーの利用希望時間帯等



- ・ 障害の種類別に見ると、「視覚障害」では「毎日利用したい」の比率が高く、「聴覚障害」では「日曜や祝日に利用したい」の比率が、「肢体不自由」と「内部障害」では「その他」の比率が高くなっている。

問6 障害の種類 × 問17-2 ホームヘルパーの利用希望時間帯等



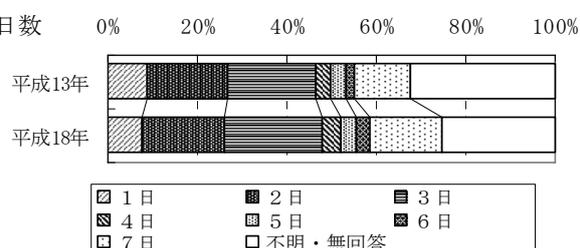
I ホームヘルパーの1週間当たりの利用希望日数

問17-3 「問16」で、ホームヘルプサービスを「1. 現在、利用している。または利用したことがある」または「2. 将来、必要になった時に利用したい」とお答えの方) ホームヘルパーを1週間のうち何日利用したいですか。

- ・ 今回調査では、「3日」が21.8%と最も高く、次いで「2日」が18.6%、「7日」が16.1%と続いている。2日～3日の合計が40.4%を占めており、この辺りが中心となっていることが分かる。
- ・ 前回調査と比べて特に大きな変化は見られない。

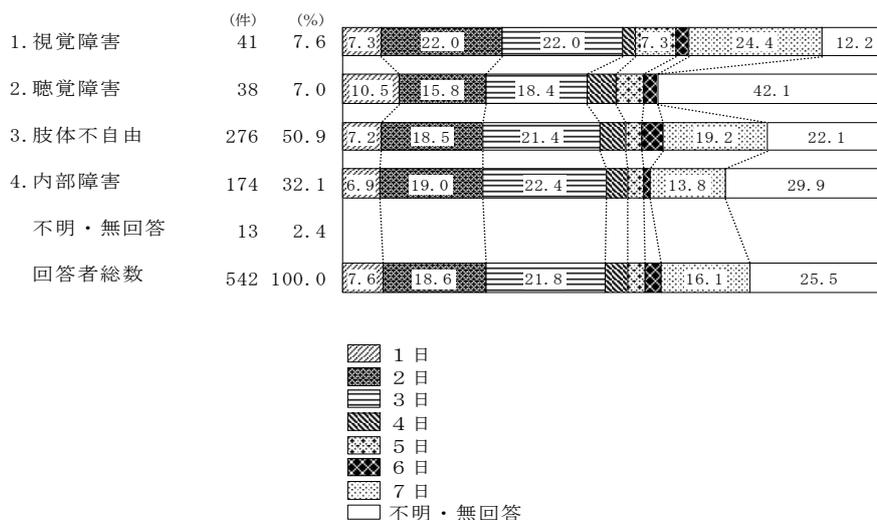
問17-3 ホームヘルパーの1週間当たりの利用希望日数
(単位:%)

	平成13年	平成18年
1日	8.7	7.6
2日	18.1	18.6
3日	19.6	21.8
4日	3.6	4.2
5日	3.4	3.3
6日	1.8	3.0
7日	12.5	16.1
不明・無回答	32.4	25.5
合計	100.0	100.0
N	618	542



- ・ 障害の種類別に見ると、いずれの障害においても「2日」、「3日」の比率が高くなっている。

問6 障害の種類 × 問17-3 ホームヘルパーの1週間当たりの利用希望日数



オ ホームヘルパーの利用希望時間数

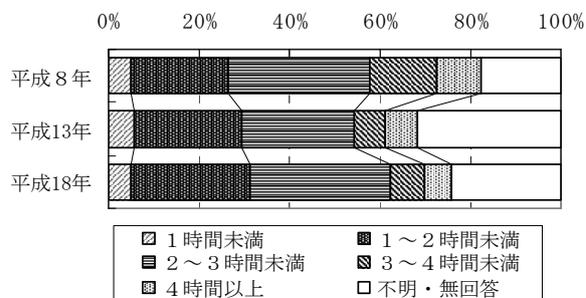
問17-4（「問16」で、ホームヘルプサービスを「1. 現在、利用している。または利用したことがある」または「2. 将来、必要になった時に利用したい」とお答えの方）ホームヘルパーを1日に何時間利用したいですか。

- ・ 今回調査では、「2～3時間未満」が31.2%で最も多く、次いで「1～2時間未満」が26.4%となっている。
- ・ 前回調査と比べて「1～2時間未満」、「2～3時間未満」が共に増加している。
- ・ 1週間当たりの利用希望延べ時間分布を見ると、「10～20時間未満」が最も多くなっている。

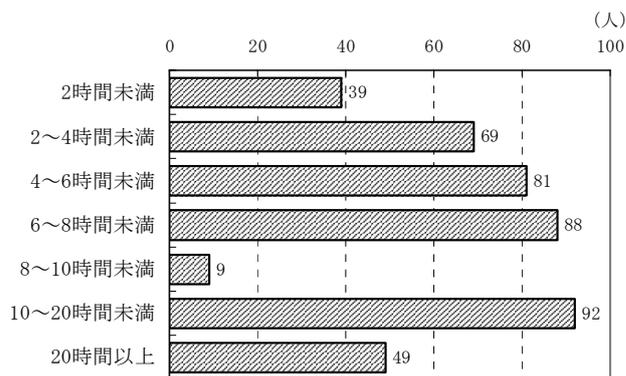
問17-4 ホームヘルパーの利用希望時間数

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
1時間未満	4.9	5.8	4.8
1～2時間未満	21.4	23.6	26.4
2～3時間未満	31.3	24.8	31.2
3～4時間未満	14.8	7.0	7.4
4時間以上	9.7	7.1	6.3
不明・無回答	17.8	31.7	24.0
合計	100.0	100.0	100.0
N	527	618	542



ホームヘルパーの利用希望延べ時間分布（週当たり）



* 算出方法：各個人のデータから、利用希望時間数(1日)×利用希望日数(週)を積み上げたもの

(5) 日帰り介護（デイサービス）の利用状況

7 利用状況

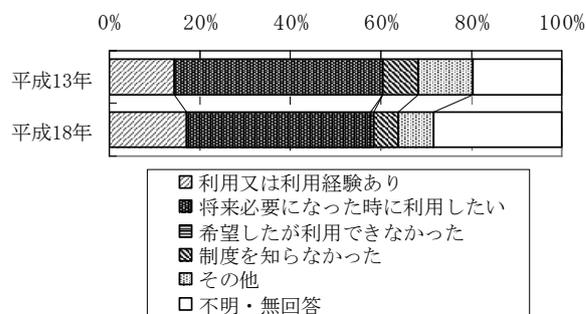
問18 日帰り介護（デイサービス）の利用についておたずねします。あなたは日帰り介護（デイサービス）を利用したことがありますか。

- ・ 今回調査では、「将来必要になった時に利用したい」が40.7%で最も多く、次いで「利用又は利用経験あり」が17.1%と続いている。
- ・ 前回調査と比べて「利用又は利用経験あり」の比率が増加し、「将来必要になった時に利用したい」の比率は減少している。

問18 日帰り介護（デイサービス）の利用状況

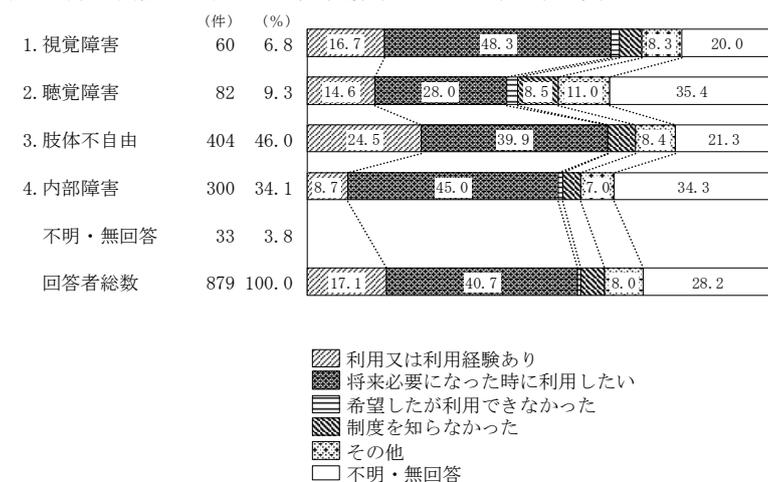
(単位:%)

	平成13年	平成18年
利用又は利用経験あり	14.3	17.1
将来必要になった時に利用したい	46.1	40.7
希望したが利用できなかった	0.2	0.7
制度を知らなかった	7.7	5.3
その他	12.0	8.0
不明・無回答	19.8	28.2
合計	100.0	100.0
N	951	879



- ・ 障害の種類別では、「肢体不自由」において「利用又は利用経験あり」の比率が24.5%と他の障害に比べて高くなっている。

問6 障害の種類 × 問18 日帰り介護（デイサービス）の利用状況



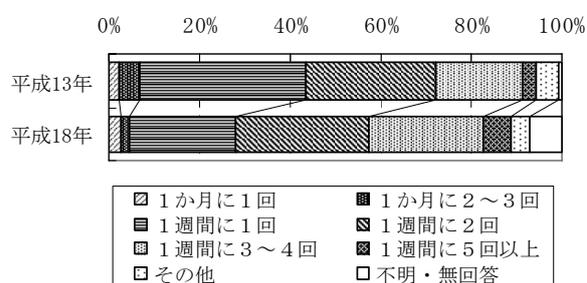
イ 利用回数

問19-1 「問18」で、日帰り介護（デイサービス）を「1. 現在、利用している。または利用したことがある」とお答えの方)どの程度利用していますか。

- ・ 今回調査では、「1週間に2回」が29.3%と最も多くなっており、次いで「1週間に3～4回」が25.3%、「1週間に1回」が23.3%と続いている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて「1週間に1回」の比率が減少し、「1週間に3～4回」や「1週間に5回以上」の比率が増加しており、利用回数は増加傾向にあることが分かる。

問19-1 日帰り介護（デイサービス）の利用回数

	(単位:%)	
	平成13年	平成18年
1か月に1回	2.2	2.7
1か月に2～3回	4.4	2.0
1週間に1回	36.8	23.3
1週間に2回	28.7	29.3
1週間に3～4回	19.1	25.3
1週間に5回以上	2.9	6.0
その他	5.1	4.0
不明・無回答	0.7	7.3
合計	100.0	100.0
N	136	150



4. 外出の状況

(1) 外出回数

問20 あなたは普通1か月に何回ぐらい外出されますか。

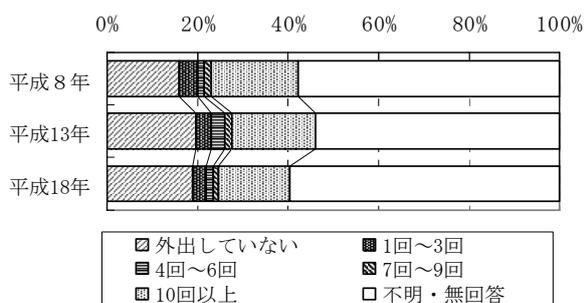
(1)仕事・通学の場合、(2)仕事・通学以外の場合、に分けてお答えください。

- ・ 仕事・通学の場合については、「外出していない」が18.8%ある一方で、“月に10回以上”が16.0%となっており、外出回数の比率が二極化する傾向が見られる。
- ・ 仕事・通学以外の場合については、“月に10回以上”が33.6%，“月に1回～3回”が18.7%，“月に4回～6回”が13.0%などとなっており、仕事・通学の場合と異なって外出頻度はばらつく傾向にある。

問20(1) 外出回数（仕事・通学の場合）

(単位:%)

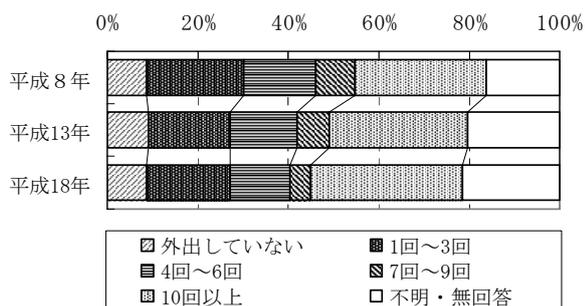
	平成8年	平成13年	平成18年
外出していない	16.0	19.7	18.8
1回～3回	3.9	3.3	3.0
4回～6回	1.6	3.0	1.8
7回～9回	1.6	1.4	0.8
10回以上	19.3	18.6	16.0
不明・無回答	57.6	54.0	59.6
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879



問20(2) 外出回数（仕事・通学以外の場合）

(単位:%)

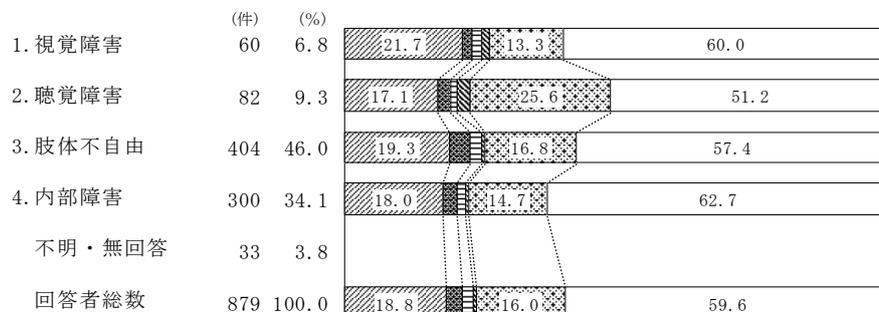
	平成8年	平成13年	平成18年
外出していない	8.7	9.0	8.6
1回～3回	21.5	18.1	18.7
4回～6回	15.8	14.6	13.0
7回～9回	8.8	7.4	4.7
10回以上	29.0	30.5	33.6
不明・無回答	16.2	20.4	21.5
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879



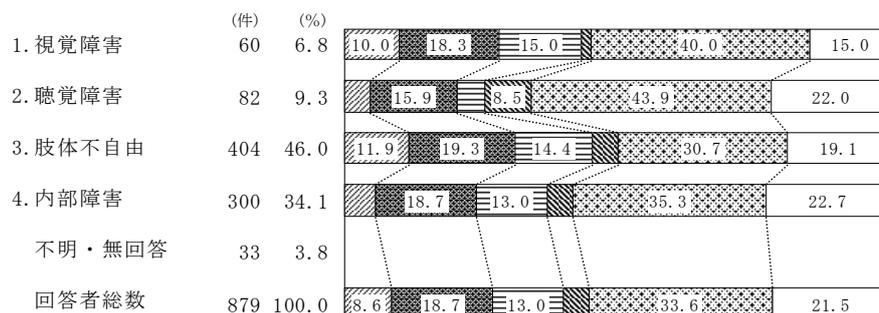
第3章 身体障害者生活状況調査（18歳以上）結果

- ・ 障害の種類別に見ると、仕事・通学の場合、仕事・通学以外の場合共に、「聴覚障害」において“月に10回以上”の比率が他の障害に比べて高くなっている。

問6 障害の種類 × 問20(1) 外出回数（仕事・通学の場合）



問6 障害の種類 × 問20(2) 外出回数（仕事・通学以外の場合）



(2) 仕事・通学以外の外出の目的

問21-1 「問20」で「仕事・通学以外で外出した」とお答えの方) その場合、外出の目的は何でしたか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「通院」が71.0%で最も多く、次いで「買物」が67.6%、「知人宅訪問」が22.1%などと続いており、「通院」と「買物」が外出の主要目的となっていることが分かる。
- ・ 経年的に見ても、「通院」と「買物」が主要な目的であることは同様である。

問21-1 仕事・通学以外の外出の目的〈複数回答3〉

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
買物	68.6	69.4	67.6
知人宅訪問	28.9	24.6	22.1
レクリエーション	14.8	14.8	12.5
障害者団体の活動	3.3	2.4	2.8
ボランティア活動	2.0	2.4	2.6
町内会・自治会活動	3.7	6.6	5.5
スポーツ活動	8.4	6.4	9.3
博物館見学や教養講座参加	7.0	9.4	10.3
通院	75.9	75.7	71.0
施設の利用	8.6	9.8	11.4
その他	17.5	16.7	16.0
不明・無回答	1.1	2.1	6.5
合計	239.8	240.3	237.6
N	748	671	614

(3) 外出の際の問題点

問22 あなたは外出されるとき、どのようなことにお困りですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 「道路や駅に階段や段差が多い」が55.2%で最も多く、次いで「道路に自転車などの障害物が多い」が34.2%、「車などに危険を感じる」が27.8%、「利用する建物の設備の不備」が25.3%などと続いている。
- ・ 経年的に見ても、「道路や駅に階段や段差が多い」、「道路に自転車などの障害物が多い」、「車などに危険を感じる」、「利用する建物の設備の不備」の各項目の比率が高くなっている。

問22 外出の際の問題点（複数回答3）

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
道路や駅に階段や段差が多い	56.1	54.7	55.2
音の信号機が少ない	3.4	2.3	3.0
点字ブロックの敷設がない	0.3	0.9	0.7
利用できる交通機関が少ない	14.8	16.7	13.2
車などに危険を感じる	30.6	33.4	27.8
道路に自転車などの障害物が多い	33.6	34.3	34.2
利用する建物の設備の不備	23.3	21.9	25.3
介助者がいない	4.1	4.2	5.9
その他	9.5	9.6	11.3
不明・無回答	23.6	25.3	23.2
合計	199.3	203.3	199.7
N	996	951	879

- ・ 障害の種類別では、「視覚障害」、「肢体不自由」、「内部障害」では「階段や段差が多い」の比率が最も高く、「聴覚障害」では「道路に自転車などの障害物が多い」の比率が最も高くなっている。

問6 障害の種類 × 問22 外出の際の問題点（複数回答3）

問22		外出の際の問題点（複数回答3）										上段：実数（件） 下段：構成比（%）	
		1. 階段や段差が多い	2. 音の信号機が少ない	3. 点字ブロックの敷設がない	4. 利用できる交通機関が少ない	5. 車などに危険を感じる	6. 道路に自転車などの障害物が多い	7. 利用する建物の設備の不備	8. 介助者がいない	9. その他	不明・無回答		
障害の種類	1. 視覚障害	38 63.3	10 16.7	2 3.3	8 13.3	28 46.7	30 50.0	10 16.7	4 6.7	5 8.3	8 13.3	60 100.0	
	2. 聴覚障害	21 25.6	8 9.8	0 0.0	3 3.7	26 31.7	27 32.9	9 11.0	16 19.5	7 8.5	26 31.7	82 100.0	
	3. 肢体不自由	250 61.9	3 0.7	3 0.7	63 15.6	107 26.5	138 34.2	128 31.7	23 5.7	50 12.4	77 19.1	404 100.0	
	4. 内部障害	162 54.0	5 1.7	1 0.3	39 13.0	76 25.3	97 32.3	70 23.3	7 2.3	34 11.3	80 26.7	300 100.0	
	不明・無回答	14 42.4	0 0.0	0 0.0	3 9.1	7 21.2	9 27.3	5 15.2	2 6.1	3 9.1	13 39.4	33 100.0	
回答者総数		485 55.2	26 3.0	6 0.7	116 13.2	244 27.8	301 34.2	222 25.3	52 5.9	99 11.3	204 23.2	879 100.0	

(4) 外出の際の利用交通機関

問23 あなたは外出される時、主に利用される交通機関は何ですか。利用回数の多いものから2つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「市バス」が42.0%、「タクシー」が36.9%、「自家用車（介護者が運転）」が24.1%、「市営地下鉄」が22.2%と続いている。
- ・ 経年的には、「市営地下鉄」や「自家用車（介護者が運転）」の比率が増加傾向にある。

問23 外出の際の利用交通機関（複数回答2）

（単位：%）

	平成8年	平成13年	平成18年
J R	4.4	6.2	4.1
私鉄	11.5	11.6	11.0
市営地下鉄	9.3	16.1	22.2
市バス	43.5	39.9	42.0
J R・民営バス	3.8	4.2	2.0
タクシー	36.0	38.7	36.9
自家用車(自分で運転)	15.2	16.6	15.0
自家用車(介護者が運転)	21.6	21.9	24.1
その他	9.9	7.9	8.3
不明・無回答	10.2	8.2	5.9
合計	165.4	171.3	171.6
N	996	951	879

- ・ 障害の種類別では、「視覚障害」において「市バス」、「タクシー」の比率が高く、「聴覚障害」、「内部障害」では「市バス」の比率が高くなっている。また、「肢体不自由」では「タクシー」の比率が高くなっている。

問6 障害の種類 × 問23 外出の際の利用交通機関（複数回答2）

上段：実数（件）
下段：構成比（%）

問23		外出の際の利用交通機関（複数回答2）										回答者総数
問6		1. J R	2. 私鉄	3. 市営地下鉄	4. 市バス	5. J R・民営バス	6. タクシー	7. 自家用車(自分で運転)	8. 自家用車(介護者が運転)	9. その他	10. 不明・無回答	
障害の種類	1. 視覚障害	4 6.7	7 11.7	16 26.7	30 50.0	2 3.3	25 41.7	1 1.7	12 20.0	2 3.3	3 5.0	60 100.0
	2. 聴覚障害	4 4.9	19 23.2	19 23.2	51 62.2	5 6.1	17 20.7	11 13.4	10 12.2	5 6.1	4 4.9	82 100.0
	3. 肢体不自由	12 3.0	29 7.2	79 19.6	130 32.2	4 1.0	168 41.6	60 14.9	120 29.7	40 9.9	29 7.2	404 100.0
	4. 内部障害	14 4.7	37 12.3	79 26.3	146 48.7	7 2.3	100 33.3	60 20.0	60 20.0	23 7.7	11 3.7	300 100.0
	不明・無回答	2 6.1	5 15.2	2 6.1	12 36.4	0 0.0	14 42.4	0 0.0	10 30.3	3 9.1	5 15.2	33 100.0
	回答者総数	36 4.1	97 11.0	195 22.2	369 42.0	18 2.0	324 36.9	132 15.0	212 24.1	73 8.3	52 5.9	879 100.0

5. 就労（仕事）・収入の状況

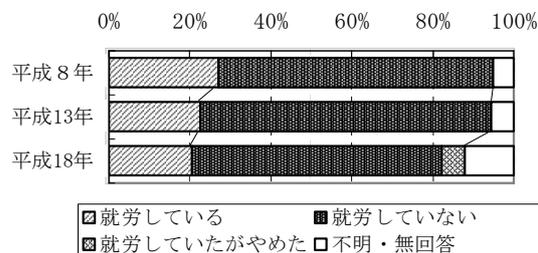
(1) 就労状況

問24 あなたの就労状況についておたずねします。あなたは、現在、就労して（働いて）いますか。

- ・ 今回調査では、「就労している」が 20.6%、「就労していない（就労していない+就労していたがやめた）」が 67.2%となっている。
- ・ 経年的には、「就労している」の比率が徐々に減少している状況が分かる。これは、対象者の高齢化が反映されているためと考えられる。

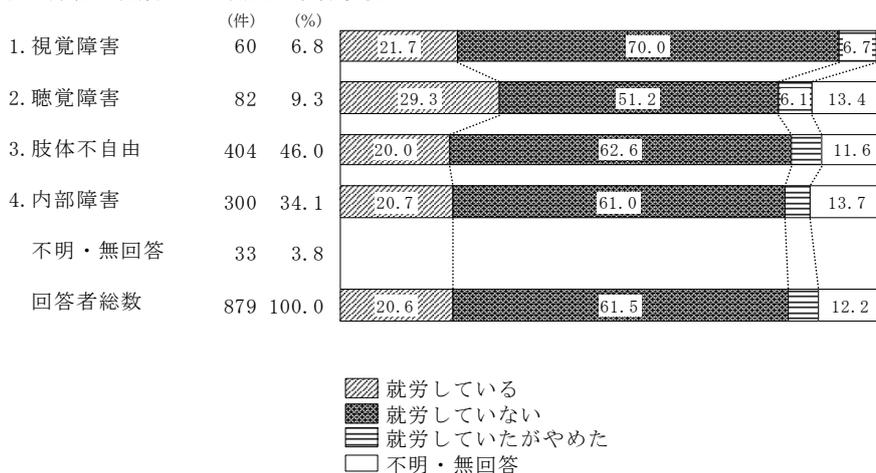
問24 就労状況

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
就労している	27.0	22.6	20.6
就労していない	67.9	71.7	61.5
就労していたがやめた			5.7
不明・無回答	5.1	5.7	12.2
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879

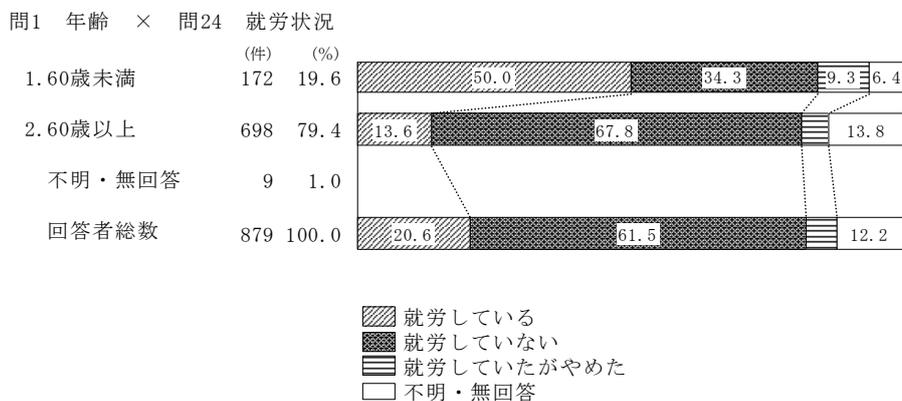


- ・ 障害の種類別では、「聴覚障害」において「就労している」の比率が他の障害に比べて高くなっている。

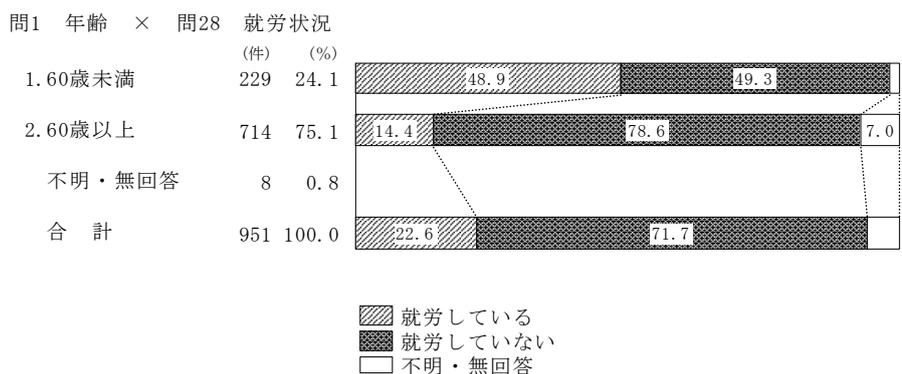
問6 障害の種類 × 問24 就労状況



- 年齢別では、「60歳未満」の場合は、「就労している」の比率は50.0%であるのに対し、「60歳以上」では13.6%となっている。前回調査では、「60歳未満」の場合、「就労している」の比率は、48.9%であったことから、微増傾向にある。



〈参考〉前回調査



(2) 就労している業種

問25-1 「問24」で「1. 就労している（働いている）」とお答えの方 あなたのお仕事は、次の種類のうちどれにあたりますか。

- ・ 今回調査では、「販売・サービス・飲食」が24.3%で最も多く、次いで「その他」が14.9%、「製造・加工業」が13.3%と続いている。「その他」の具体的内容としては、「自営」や「病院」、「福祉施設職員」などの記述が見られた。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて「販売・サービス・飲食」の比率が大きく増加しているが、これは過去の調査と選択肢の記載内容が若干異なったことも影響していると考えられる。その一方で「専門的・技術的職業」の比率は低下傾向にある。

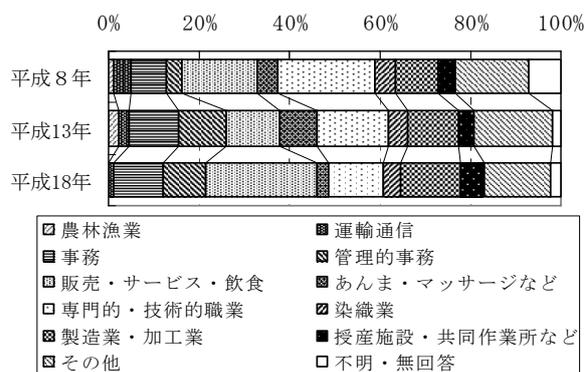
問25-1 就労している業種

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
農林漁業	1.1	2.3	0.0
運輸通信	3.7	2.3	1.1
事務	8.2	10.7	11.0
管理的事務	3.3	10.7	9.4
販売・サービス・飲食 *1	16.4	11.6	24.3
あんま・マッサージなど	4.8	8.4	2.8
専門的・技術的職業	21.6	15.8	12.2
染織業	4.5	4.2	3.9
製造・加工業 *2	9.3	11.2	13.3
授産施設・共同作業所など	3.7	3.7	5.0
その他	16.4	17.2	14.9
不明・無回答	7.1	1.9	2.2
合計	100.0	100.0	100.0
N	269	215	181

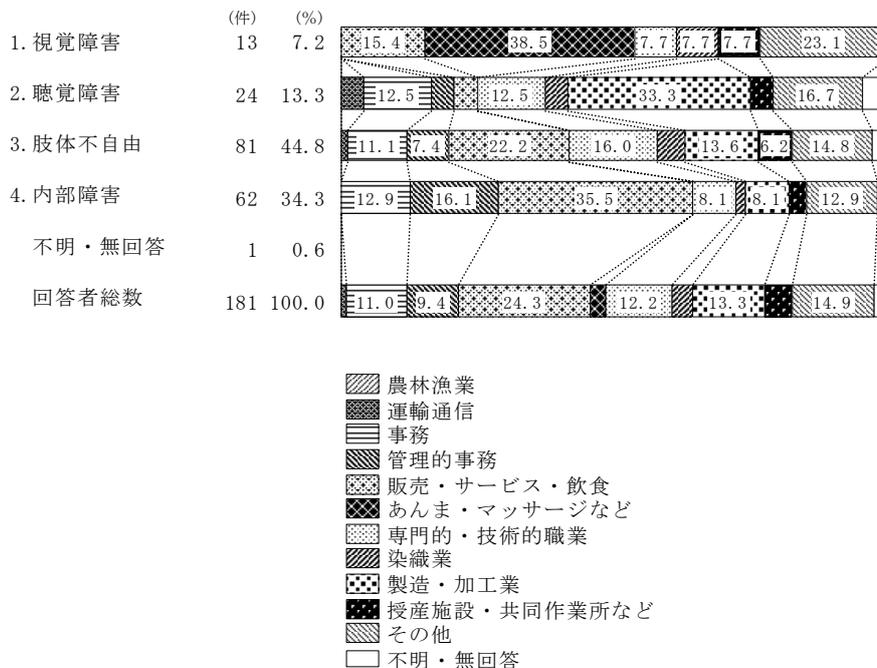
*1 平成18年以外は「販売・サービス」

*2 平成18年以外は「製造業」



- ・ 障害の種類別では、「視覚障害」の場合は「あんま・マッサージなど」の比率が高く、「聴覚障害」では「製造・加工業」が、「内部障害」では「販売・サービス・飲食」の比率が高くなっている。なお、「肢体不自由」の場合は、比較的、特定の業種に偏らず多様な業種に分散している状況が分かる。

問6 障害の種類 × 問25-1 就労している業種



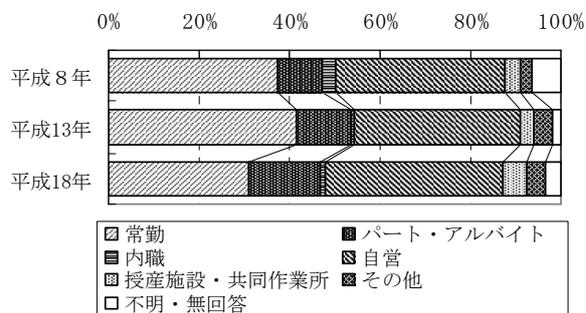
(3) 就労形態

問25-2 「問24」で「1. 就労している（働いている）」とお答えの方) あなたのお勤めの形態は、次の区分のうちどれでしょうか。

- ・ 今回調査では、「自営」が39.2%で最も多く、次いで「常勤」が30.9%、「パート・アルバイト」が16.0%と続いている。
- ・ 経年的には、項目によって比率の増減が見られるが、その中において「パート・アルバイト」は増加傾向にある。

問25-2 就労形態

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
常勤	37.5	41.4	30.9
パート・アルバイト	9.7	12.1	16.0
内職	3.0	0.9	1.1
自営	37.2	36.7	39.2
授産施設・共同作業所	3.7	2.8	5.0
その他	2.6	4.2	4.4
不明・無回答	6.3	1.9	3.3
合計	100.0	100.0	100.0
N	269	215	181



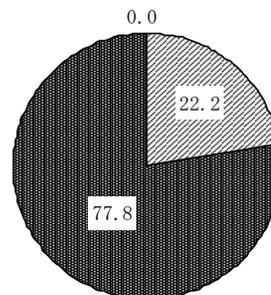
(4) 企業での就労希望の有無

問25-3-1 「問25-2」で、お勤めの形態を「5. 授産施設・共同作業所など」とお答えの方) あなたは、今後、会社ではたらくことを希望しますか。

- ・ 該当者数が9件と少ないが、「希望する」と回答した人の比率は22.2%となっている。

問25-3-1 企業での就労希望の有無 (単位:%)

	平成18年
希望する	22.2
希望しない	77.8
不明・無回答	0.0
合計	100.0
N	9



希望する 希望しない 不明・無回答

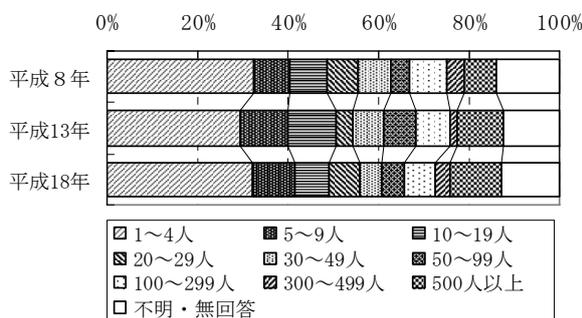
(5) 勤務先の従業員数

問25-4 「問24」で「1. 就労している（働いている）」とお答えの方）あなたのお勤め先の従業員数は、およそ何人ですか。

- ・ 今回調査では、「1～4人」が32.0%と最も多く、次いで「500人以上」が11.6%と続いている。
- ・ 経年的には、調査年次ごとに比率は増減しており、明確な傾向は見られない。

問25-4 勤務先の従業員数

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
1～4人	32.3	29.3	32.0
5～9人	8.2	10.7	9.4
10～19人	8.2	10.7	7.7
20～29人	6.7	3.7	6.6
30～49人	7.4	6.5	5.0
50～99人	4.1	7.4	5.0
100～299人	8.2	7.4	6.6
300～499人	3.7	1.4	3.3
500人以上	7.1	10.2	11.6
不明・無回答	14.1	12.6	12.7
合計	100.0	100.0	100.0
N	269	215	181



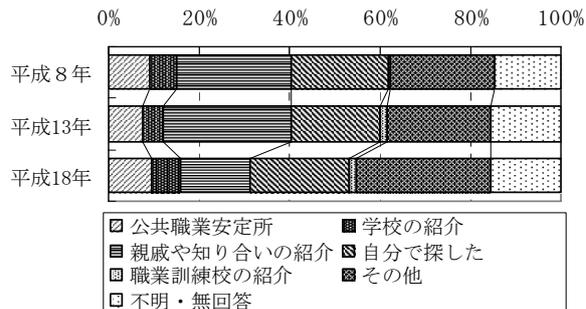
(6) 就労の方法

問25-5 「問24」で「1. 就労している（働いている）」とお答えの方）現在のお仕事は、どんな方法で見つけられましたか。

- ・ 今回調査では、「その他」が29.8%で最も多くなっており、次いで「自分で探した」が21.5%、「親戚や知り合いの紹介」が15.5%などとなっている。「その他」の具体的内容としては、「自営」、「家業」、「情報誌」などの記述が見られた。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて「親戚や知り合いの紹介」の比率が低下しており、「その他」などの比率が増加傾向にある。

問25-5 就労の方法

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
公共職業安定所	8.9	7.4	9.4
学校の紹介	6.3	4.7	6.6
親戚や知り合いの紹介	25.3	28.4	15.5
自分で探した	21.6	19.5	21.5
職業訓練校の紹介	0.4	1.4	1.7
その他	22.7	23.3	29.8
不明・無回答	14.9	15.3	15.5
合計	100.0	100.0	100.0
N	269	215	181



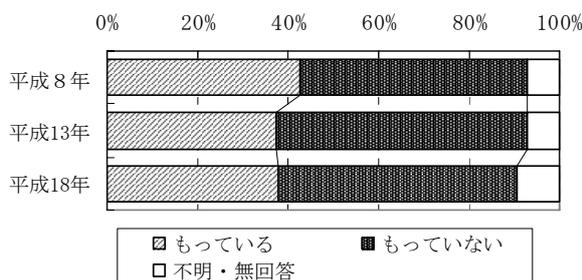
(7) 仕事についての不安や不満の有無

問25-6 「問24」で「1. 就労している（働いている）」とお答えの方 現在のお仕事について不安や不満をもっておられますか。

- ・ 今回調査では、不安や不満を「もっている」が37.6%、「もっていない」が53.0%となっている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて大きな変化は見られない。

問25-6 仕事についての不安や不満の有無
(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
もっている	42.8	37.2	37.6
もっていない	50.2	55.8	53.0
不明・無回答	7.1	7.0	9.4
合計	100.0	100.0	100.0
N	269	215	181



(8) 仕事についての不安や不満の理由

問25-7-1 「問25-6」で、不安や不満を「1. もっている」とお答えの方 その理由は何ですか。主なものを2つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「将来性がない」が30.9%で最も多く、次いで、「勤務条件が合わない」が27.9%、「その他」が23.5%、「障害状況に適していない」が20.6%と続いている。「その他」の具体的内容としては、「コミュニケーションが難しい」や「体力的に難しい」、「自分の障害でいつまで続けられるか不安」などの記述が見られた。
- ・ 前回調査と比べて、「人間関係が良くない」の比率が大幅に増加し、逆に「障害状況に適していない」や「将来性がない」の比率が減少している。

問25-7-1 仕事についての不安や不満の理由（複数回答2）

	平成8年	平成13年	平成18年
職場の設備が悪い	9.6	12.5	13.2
通勤上に支障	7.8	12.5	8.8
障害状況に適していない	9.6	28.7	20.6
技術が生かせない	5.2	7.5	4.4
人間関係が良くない	13.9	8.8	17.6
将来性がない	34.8	38.8	30.9
勤務条件が合わない*	61.7	26.3	27.9
その他	16.5	23.8	23.5
不明・無回答	3.5	7.5	5.9
合計	162.6	166.4	152.9
N	115	80	68

* 平成18年以外は「収入が少ない」

(9) 就労していない人の就労希望

問26-1 「問24」で「2. 就労していない（働いていない）」とお答えの方 あなたは、設備やその他の条件が整えば、就労したい（働きたい）と思われますか。

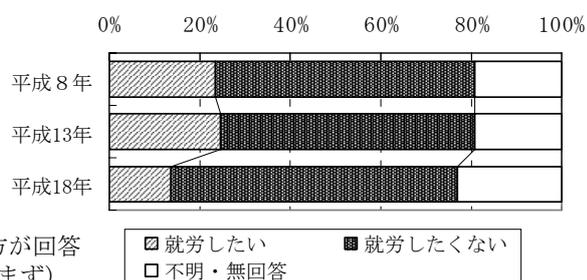
- ・ 今回調査では、「就労したくない」が63.4%、「就労したい」が13.7%となっている。
- ・ 経年的には、前回調査と比較して「就労したい」の比率が減少し、「就労したくない」の比率が増加している。

問26-1 就労していない人の就労希望 *

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
就労したい	23.4	24.6	13.7
就労したくない	57.5	56.3	63.4
不明・無回答	19.1	19.1	22.9
合計	100.0	100.0	100.0
N	676	682	541

* 平成18年は、「就労していない」とお答えの方が回答（「就労していたがやめた」とお答えの方は含まず）



(10) 就労希望者の就労していない理由

問26-2-1 「問26-1」で、「1.就労したい(働きたい)」とお答えの方 現在、就労していない(働いていない)理由は何ですか。主なものを2つまでお答えください。

- ・ 「病気のため」が45.9%、「自分の障害に適した仕事がない」が43.2%、「高齢のため」が39.2%となっており、この3者の比率が高い。
- ・ 経年的には、「病気のため」や「自分の障害に適した仕事がない」の比率が減少し、「通勤上の支障」や「その他」の比率が増加している。

問26-2-1 就労希望者の就労していない理由〈複数回答2〉*
(単位:%)

	平成13年	平成18年
病気のため	53.6	45.9
高齢のため	35.7	39.2
家事等に専念	6.5	4.1
自分の障害に適した仕事がない	51.8	43.2
通勤上の支障	6.0	14.9
職場の人間関係	3.6	2.7
勤務条件が合わない	7.7	5.4
その他	6.5	16.2
不明・無回答	1.2	2.7
合計	172.6	174.3
N	168	74

* 平成18年は「就労していない」かつ「就労したい」とお答えの方が回答(「就労していたがやめた」とお答えの方は含まず。)

- ・ 年齢別では、「60歳未満」の場合は「自分の障害に適した仕事がない」の比率が最も高いが、「60歳以上」の場合は「高齢のため」、「病気のため」の比率が高くなっている。

問1 年齢 × 問26-2-1 就労希望者の就労していない理由〈複数回答2〉

上段：実数(件)
下段：構成比(%)

問26-2-1		就労希望者の就労していない理由〈複数回答2〉									回答者総数
問1		1. 病気のため	2. 高齢のため	3. 家事・学業に専念	4. 自分の障害に適した仕事がない	5. 通勤上の支障	6. 人間関係	7. 勤務条件	8. その他	不明・無回答	
年齢	1. 65歳未満	17 45.9	6 16.2	3 8.1	20 54.1	9 24.3	2 5.4	3 8.1	5 13.5	1 2.7	37 100.0
	2. 65歳以上	16 45.7	23 65.7	0 0.0	11 31.4	2 5.7	0 0.0	1 2.9	6 17.1	1 2.9	35 100.0
	不明・無回答	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0
	回答者総数	34 45.9	29 39.2	3 4.1	32 43.2	11 14.9	2 2.7	4 5.4	12 16.2	2 2.7	74 100.0

(11) 就労経験者の就労をやめた理由

問27-1 「問24」で「3. 就労していたがやめた（働いていたがやめた）」とお答えの方）やめた理由は何ですか。主なものを2つまでお答えください。

- ・ 「病気のため」が50.0%で最も多く、次いで「その他」の32.0%、「仕事の負担が大きい」が28.0%と続いている。「その他」の具体的内容としては、「定年」や「家庭の都合」、「事故」などの記述が見られた。

問27-1 就労経験者の就労をやめた理由（複数回答2）
（単位：%）

	平成18年
病気のため	50.0
通勤や職場の設備・環境が合わない	4.0
人間関係がうまくいかない	8.0
技術が生かせない	2.0
障害への理解や支援がなかった	4.0
仕事の負担が大きい	28.0
勤務条件が合わない	4.0
解雇された	4.0
その他	32.0
不明・無回答	4.0
合計	140.0
N	50

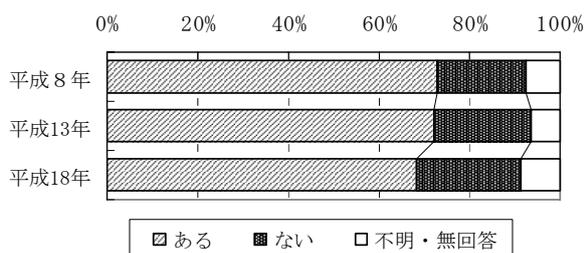
(12) 収入の有無

問28 あなたご自身には収入がありますか。

- ・ 今回調査では、「ある」が68.1%と約7割を占め、「ない」が23.1%となっている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて「ある」の比率が減少し、「ない」の比率が微増している。

問28 収入の有無

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
ある	72.9	72.0	68.1
ない	19.5	21.5	23.1
不明・無回答	7.6	6.5	8.8
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879



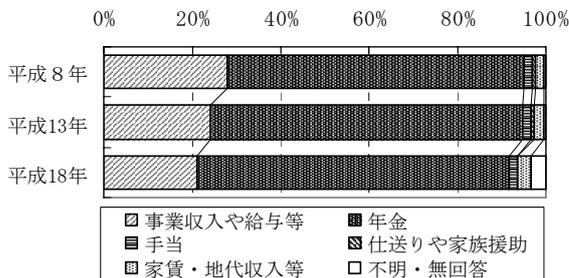
(13) 収入の種類

問29-1 (「問28」で、収入が「1. ある」とお答えの方) あなたの収入の種類は次のどれにあたりますか。主なものを1つお答えください。

- ・ 今回調査では、「年金」が70.6%で最も多く、次いで「事業収入や給与・賃金等」が21.0%となっており、この両者の比率が高い。
- ・ 経年的には、「事業収入や給与・賃金等」の比率の減少が見られる。

問29-1 収入の種類

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
事業収入や給与・賃金等	27.8	24.2	21.0
年金	67.4	70.5	70.6
手当	1.9	1.9	1.8
仕送りや家族援助	0.7	0.6	0.2
家賃・地代・利子・財産収入等	1.8	2.3	2.8
不明・無回答	0.4	0.4	3.5
合計	100.0	100.0	100.0
N	729	685	599

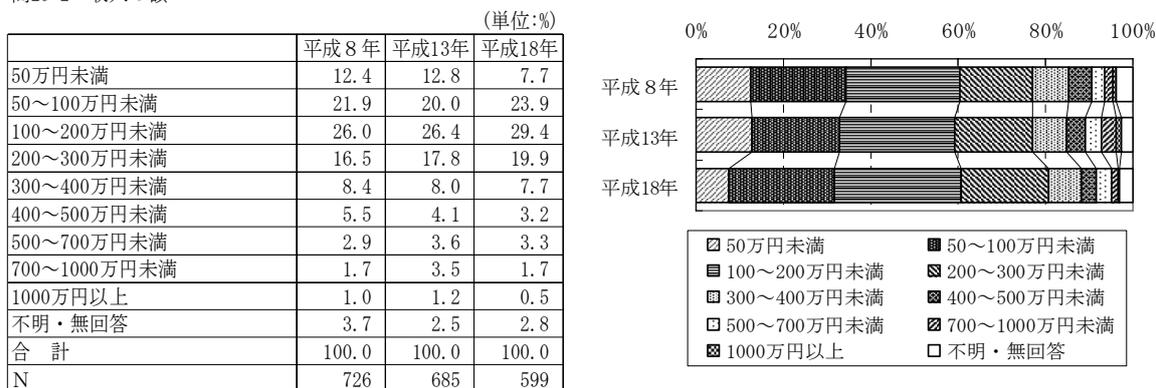


(14) 収入の額

問29-2（「問28」で、収入が「1. ある」とお答えの方）あなたの収入は、おおよそどのくらいですか。年収でお答えください。

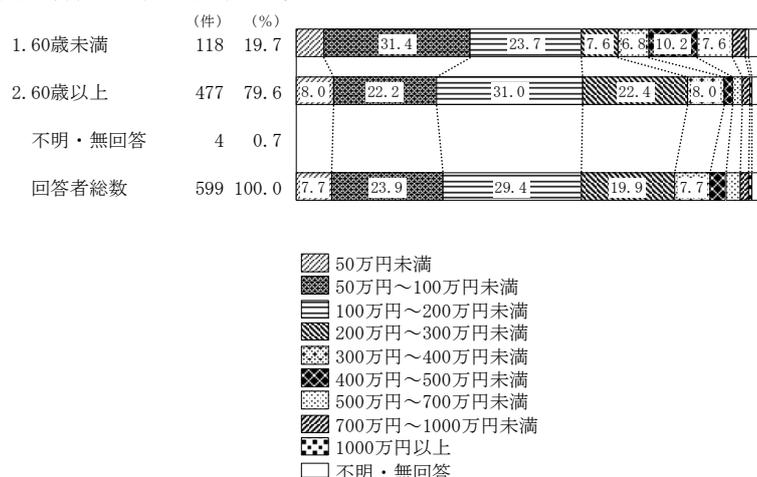
- ・ 今回調査では、「100～200万円未満」が29.4%で最も多く、次いで「50～100万円未満」が23.9%などとなっており、「200万円未満」が61.0%と約6割を占めている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて、「200万円未満」の層は、微増傾向にある。

問29-2 収入の額



- ・ 年齢別では、「60歳未満」の場合は「60歳以上」と比べて100万円未満の比率が高くなっており、収入の額が低くなっている。なお、「60歳以上」の場合は100～300万円未満の層の比率が高くなっている。

問1 年齢 × 問29-2 収入の額



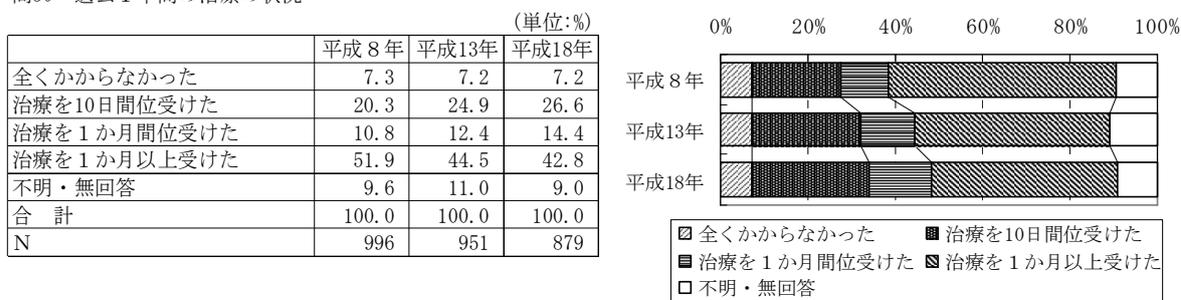
6. 健康・医療などの状況

(1) 過去1年間の治療の状況

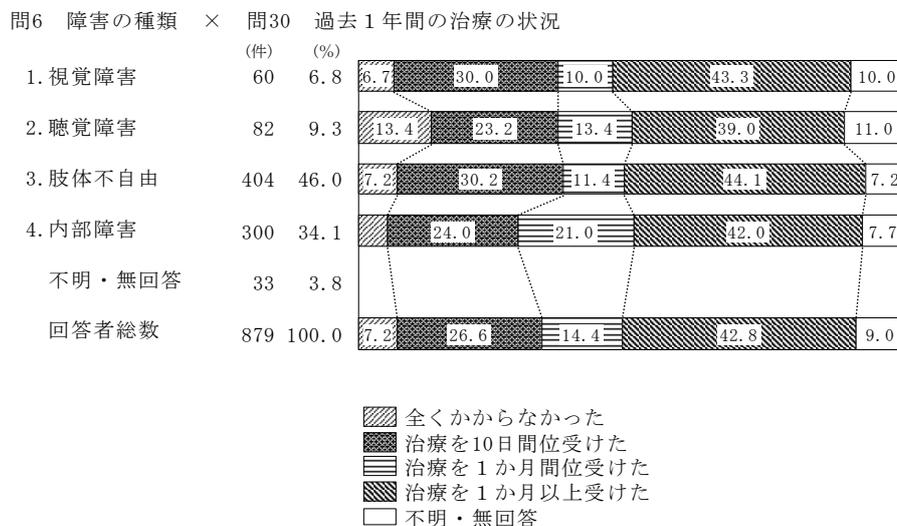
問30 あなたは、過去1年間に、病気（かぜ・腹痛・歯痛などの一時的な病気を含む）のために医療機関で治療を受けられたことがありますか。

- ・ 今回調査では、「治療を1か月以上受けた」が42.8%で最も多く、次いで「治療を10日間位受けた」が26.6%などとなっている。「治療を受けた」人の合計は、83.8%と約8割を占めている。
- ・ 経年的には、「治療を1か月以上受けた」の比率が減少しており、逆に「治療を10日間位受けた」、「治療を1か月間位受けた」の比率が増加傾向にある。

問30 過去1年間の治療の状況



- ・ 障害の種類別では、「聴覚障害者」において「全くかからなかった」の比率が13.4%と他の障害に比べて少し高くなっている。「内部障害」においては「全くかからなかった」と「治療を10日間位受けた」の合計比率が他の障害よりも低くなっている。



(2) 慢性的な病気の状況

問31 あなたは、現在次の慢性的な病気にかかっていますか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「高血圧症」が33.1%、「心臓疾患」が28.9%、「腰痛」が26.5%、「その他」が24.2%などと続いている。「その他」の具体的内容としては、「てんかん」、「関節痛」、「ぜん息」、「白内障・緑内障」、「痛風」などの記述が見られた。
- ・ 前回調査と比べて「高血圧症」の比率の増加が見られる。

問31 慢性的な病気の状況（複数回答3）

（単位：%）

	平成13年	平成18年
高血圧症	28.6	33.1
糖尿病	16.4	16.3
慢性関節リウマチ	7.4	6.7
脳梗塞	12.6	12.6
心臓疾患	28.0	28.9
パーキンソン病	2.2	2.7
腎不全	7.3	7.5
神経痛	10.3	9.4
腰痛	26.1	26.5
その他	25.7	24.2
かかっていない	9.8	8.5
不明・無回答	10.2	9.4
合計	184.4	186.0
N	951	879

- ・ 障害の種類別では、すべての障害で「高血圧症」の比率が高くなっているが、「内部障害」では、「心臓疾患」の比率が特に高くなっていることも特徴的である。

問6 障害の種類 × 問31 慢性的な病気の状況（複数回答3）

上段：実数（件）
下段：横構成比（%）

問6 障害の種類	問31 慢性的な病気の状況（複数回答3）											不明・無回答	回答者総数
	1. 高血圧症	2. 糖尿病	3. 慢性関節リウマチ	4. 脳梗塞	5. 心臓疾患	6. パーキンソン病	7. 腎不全	8. 神経痛	9. 腰痛	10. その他	11. かかっていない		
1. 視覚障害	21 35.0	9 15.0	2 3.3	4 6.7	7 11.7	0 0.0	4 6.7	3 5.0	16 26.7	16 26.7	9 15.0	9 15.0	60 100.0
2. 聴覚障害	23 28.0	8 9.8	0 0.0	5 6.1	7 8.5	1 1.2	3 3.7	7 8.5	23 28.0	21 25.6	10 12.2	18 22.0	82 100.0
3. 肢体不自由	134 33.2	55 13.6	48 11.9	66 16.3	49 12.1	17 4.2	9 2.2	56 13.9	114 28.2	97 24.0	47 11.6	31 7.7	404 100.0
4. 内部障害	102 34.0	68 22.7	7 2.3	35 11.7	190 63.3	3 1.0	49 16.3	14 4.7	71 23.7	72 24.0	8 2.7	14 4.7	300 100.0
不明・無回答	11 33.3	3 9.1	2 6.1	1 3.0	1 3.0	3 9.1	1 3.0	3 9.1	9 27.3	7 21.2	1 3.0	11 33.3	33 100.0
回答者総数	291 33.1	143 16.3	59 6.7	111 12.6	254 28.9	24 2.7	66 7.5	83 9.4	233 26.5	213 24.2	75 8.5	83 9.4	879 100.0

(3) 慢性的な病気の治療日数

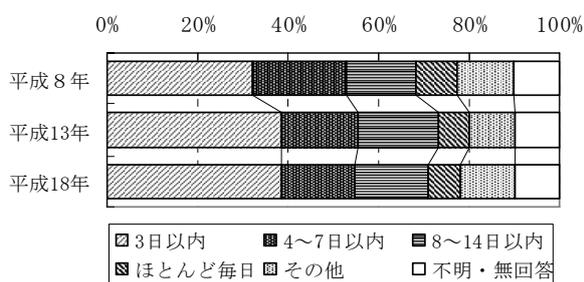
問32-1 「問31」で、「1. 高血圧症」から「10. その他」までのいずれかをお答えの方 その病気の治療のため、1か月に何日ぐらい治療を受けに行っておられますか。（延べ日数でお答えください。）

- ・ 今回調査では、「3日以内」が38.6%で最も多くなっている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて大きな違いは見られない。

問32-1 慢性的な病気の治療日数

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
3日以内	32.2	38.6	38.6
4～7日以内	20.8	16.9	16.2
8～14日以内	15.2	17.8	16.1
ほとんど毎日	9.3	6.9	7.2
その他	12.3	10.0	11.9
不明・無回答	10.2	10.0	10.0
合計	100.0	100.0	100.0
N	571	783	721



7. 社会参加の状況

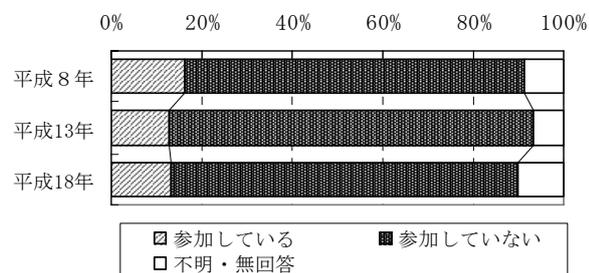
(1) スポーツや文化活動等の社会参加の状況

問33 あなたは、現在なんらかのスポーツや文化活動などに参加していますか。

- ・ 今回調査では、「参加していない」が76.5%、「参加している」が13.2%となっている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて大きな違いは見られない。

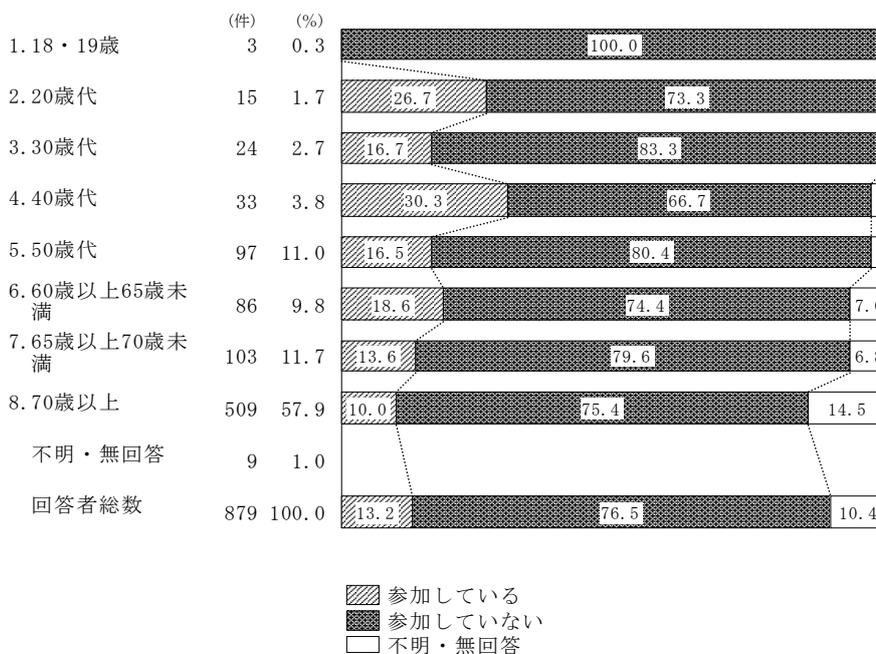
問33 スポーツや文化活動等の社会参加の状況
(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
参加している	16.2	12.7	13.2
参加していない	75.3	80.5	76.5
不明・無回答	8.5	6.7	10.4
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879



- ・ 年齢別では、おおむね年齢層が高くなるにつれて「参加している」の比率が低下している。

問1 年齢 × 問33 スポーツや文化活動等の社会参加の状況



(2) 社会参加している活動の内容

問34-1 （「問33」で「1. 参加している」とお答えの方）現在、参加している活動は何ですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「趣味・教養」が54.3%で最も多く、次いで「スポーツ」が48.3%となっており、この両者の比率が高くなっている。
- ・ 経年的には、前回調査と比較して「スポーツ」や「演劇や音楽」の比率が高くなっている。

問34-1 社会参加している活動の内容〈複数回答3〉

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
趣味・教養	50.9	52.1	54.3
スポーツ	44.7	39.7	48.3
演劇や音楽	16.1	17.4	23.3
旅行	24.8	28.1	28.4
施設見学や展示会など	12.4	14.9	12.1
研究会・研修会など	18.6	25.6	23.3
その他	18.0	9.9	13.8
不明・無回答	8.7	4.1	1.7
合計	194.2	191.8	205.2
N	161	121	116

(3) 社会参加の際の利用施設

問34-2（「問33」で「1. 参加している」とお答えの方）現在、参加している活動のために次の施設を利用していますか。よく利用しているものを2つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「その他」が37.1%、「地域の文化会館」が23.3%、「京都市障害者スポーツセンター」が17.2%などと続いている。「その他」の具体的内容としては、「老人福祉センター」や「スポーツジム」、「近くの学校の体育館」などの記述が見られた。
- ・ 経年的には、「京都市障害者スポーツセンター」や「その他」の比率が増加し、「近くの公園・学校のグラウンド」の比率が低下する傾向が見られる。

問34-2 社会参加の際の利用施設〈複数回答2〉

	(単位:%)	
	平成13年	平成18年
京都市身体障害者福祉会館	8.3	3.4
京都ライトハウス	3.3	6.0
京都市聴覚言語障害センター	6.6	8.6
京都市障害者スポーツセンター	13.2	17.2
京都市障害者教養文化・体育会館*	0.8	0.9
西京極総合運動公園・地域体育館	0.8	6.0
近くの公園、学校のグラウンド	17.4	12.1
地域の文化会館	24.0	23.3
その他	28.1	37.1
不明・無回答	24.0	18.1
合計	114.9	132.8
N	121	116

* 平成13年は「京都市勤労身体障害者教養文化体育施設」

(4) ガイドヘルパーの利用状況

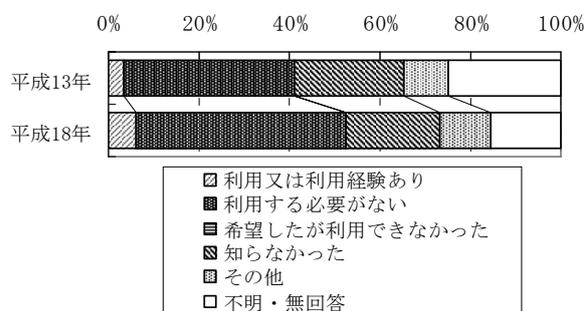
問34-3 「問33」で「1. 参加している」とお答えの方）現在、参加している活動のために外出を支援するサービス（ガイドヘルパー）を利用していますか。

- ・ 今回調査では、「利用する必要がない」が46.6%で最も多く、次いで「知らなかった」が20.7%と続いている。
- ・ 経年的には、「利用する必要がない」の比率が増えており、「知らなかった」の比率が低下している。

問34-3 ガイドヘルパーの利用状況

(単位:%)

	平成13年	平成18年
利用又は利用経験あり	3.3	6.0
利用する必要がない	38.0	46.6
希望したが利用できなかった	0.0	0.0
知らなかった	24.0	20.7
その他	9.9	11.2
不明・無回答	24.8	15.5
合計	100.0	100.0
N	121	116



(5) 社会参加していない理由

問35-1 「問33」で「2. 参加していない」とお答えの方 参加していない理由はどのようなことですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「病気」が49.9%で最も多く、次いで「高齢」が43.8%、「外出が困難」が32.3%となっており、この3者の比率が高くなっている。
- ・ 経年的には、「高齢」や「経済的なゆとりがない」、「周りの人に迷惑をかける」の比率が増加傾向にあり、「病気」の比率が低下傾向にある。

問35-1 社会参加していない理由〈複数回答3〉

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
時間的なゆとりがない	17.3	15.9	16.4
経済的なゆとりがない	13.5	15.1	19.6
利用できる施設が少ない	4.9	3.9	5.2
外出が困難	31.6	32.0	32.3
介助者がいない *1	4.1	4.6	6.7
参加する仲間がいない	11.6	13.8	13.4
よい指導者がいない *2	3.3	3.4	1.5
周りの人に迷惑をかける	13.6	15.8	16.7
周りの人の眼が気になる	2.7	2.9	1.6
高齢	38.1	41.4	43.8
病気	55.2	52.2	49.9
その他	9.5	9.3	7.4
不明・無回答	5.9	5.7	5.1
合計	211.3	216.0	219.5
N	750	766	672

*1 平成18年以外は「介助者が得にくい」

*2 平成18年以外は「適切な指導者がいない」

- ・ 障害の種類別に見ると、「視覚障害」では「高齢」と「外出が困難」、「病気」の比率が高く、「聴覚障害」では「高齢」と「参加する仲間がいない」の比率が高く、「肢体不自由」では「病気」と「高齢」、「外出が困難」の比率が、そして「内部障害」では「病気」と「高齢」の比率が高くなっている。

問6 障害の種類 × 問35-1 社会参加していない理由〈複数回答3〉

上段：実数(件)
下段：構成比(%)

障害の種類	問6	問35-1 社会参加していない理由〈複数回答3〉												不明・無回答	回答者総数	
		1. 時間的なゆとりがない	2. 経済的なゆとりがない	3. 利用できる施設が少ない	4. 外出が困難	5. 介助者がいない	6. 参加する仲間がいない	7. よい指導者がいない	8. 周りの人に迷惑をかける	9. 周りの人の眼が気になる	10. 高齢	11. 病気	12. その他			
1. 視覚障害		7	10	2	18	5	5	0	11	0	23	14	1	3	44	
		15.9	22.7	4.5	40.9	11.4	11.4	0.0	25.0	0.0	52.3	31.8	2.3	6.8	100.0	
	2. 聴覚障害		15	9	2	9	4	17	1	7	1	26	14	5	4	58
			25.9	15.5	3.4	15.5	6.9	29.3	1.7	12.1	1.7	44.8	24.1	8.6	6.9	100.0
	3. 肢体不自由		50	57	23	134	33	35	7	56	7	139	154	24	13	325
		15.4	17.5	7.1	41.2	10.2	10.8	2.2	17.2	2.2	42.8	47.4	7.4	4.0	100.0	
4. 内部障害		37	51	8	52	3	27	2	36	3	95	143	18	12	225	
		16.4	22.7	3.6	23.1	1.3	12.0	0.9	16.0	1.3	42.2	63.6	8.0	5.3	100.0	
不明・無回答		1	5	0	4	0	6	0	2	0	11	10	2	2	20	
		5.0	25.0	0.0	20.0	0.0	30.0	0.0	10.0	0.0	55.0	50.0	10.0	10.0	100.0	
回答者総数		110	132	35	217	45	90	10	112	11	294	335	50	34	672	
		16.4	19.6	5.2	32.3	6.7	13.4	1.5	16.7	1.6	43.8	49.9	7.4	5.1	100.0	

(6) 今後の社会参加希望の有無

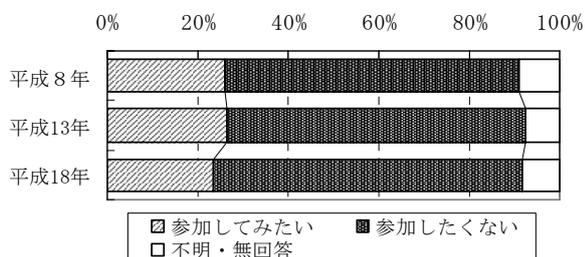
問35-2（「問33」で「2. 参加していない」とお答えの方）あなたは、今後、何らかのスポーツや文化活動に参加してみたいと思いますか。

- ・ 今回調査では、「参加したくない」が68.3%、「参加してみたい」が23.4%となっている。
- ・ 経年的には、「参加したくない」の比率が増加傾向にあり、逆に「参加してみたい」の比率が減少傾向にある。

問35-2 今後の社会参加希望の有無

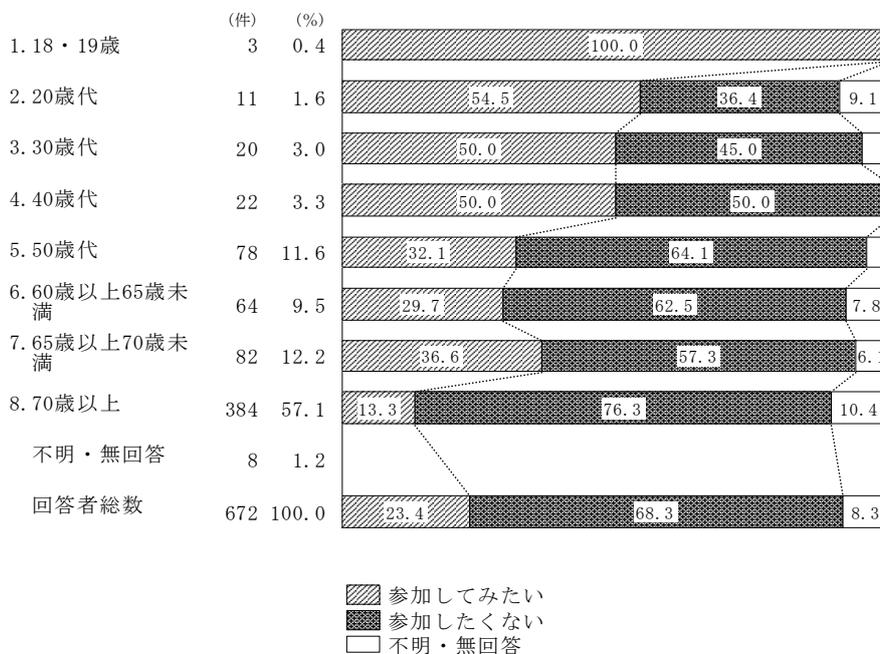
(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
参加してみたい	26.0	26.4	23.4
参加したくない	64.8	66.1	68.3
不明・無回答	9.2	7.6	8.3
合計	100.0	100.0	100.0
N	750	766	672



- ・ 年齢別で見ると、年齢層が上がるにつれて「参加してみたい」の比率は低下傾向にある。

問1 年齢 × 問35-2 今後の社会参加希望の有無



(7) 社会参加してみたい活動の種類

問35-3-1 「問35-2」で「1. 参加してみたい」とお答えの方）参加してみたい活動は何ですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「趣味・教養」の比率が65.6%で最も高く、次いで「旅行」が47.8%、「スポーツ」が39.5%、「演劇や音楽」が38.2%と続いている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて「スポーツ」の比率が増加し、「旅行」の比率が大幅に減少している。また、「研究会・研修会など」の比率も低下傾向を示している。

問35-3-1 社会参加してみたい活動の種類〈複数回答3〉

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
趣味・教養	68.7	65.8	65.6
スポーツ	31.3	31.7	39.5
演劇や音楽	37.9	38.1	38.2
旅行	61.5	66.3	47.8
施設見学や展示会など	20.0	27.7	18.5
研究会・研修会など	17.9	13.9	11.5
その他	5.1	3.0	5.7
不明・無回答	2.1	1.5	2.5
合計	244.5	248.0	229.3
N	195	202	157

- ・ 年齢別に見ると、「65歳未満」では「趣味・教養」、「スポーツ」の順でいずれも50%を超えている。また、「65歳以上」の場合は、「趣味・教養」、「旅行」の順で共に50%を超えている。

問1 年齢 × 問35-3-1 社会参加してみたい活動の種類〈複数回答3〉

上段：実数(件)
下段：構成比(%)

問35-3-1		社会参加してみたい活動の種類〈複数回答3〉								
問1		1. 趣味・教養	2. スポーツ	3. 演劇や音楽	4. 旅行	5. 施設見学や展示会など	6. 研究会・研修会など	7. その他	不明・無回答	回答者総数
年齢	1. 65歳未満	47 63.5	40 54.1	33 44.6	30 40.5	13 17.6	9 12.2	1 1.4	0 0.0	74 100.0
	2. 65歳以上	56 69.1	21 25.9	25 30.9	44 54.3	15 18.5	9 11.1	8 9.9	4 4.9	81 100.0
	不明・無回答	0 0.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
	回答者総数	103 65.6	62 39.5	60 38.2	75 47.8	29 18.5	18 11.5	9 5.7	4 2.5	157 100.0

(8) 情報の入手方法

問36 あなたは、日頃どのようにして様々な情報を得ていますか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「テレビ（一般放送）」が78.5%、「一般図書・新聞・雑誌」が62.2%と、両者の比率が高くなっている。
- ・ 経年的には、「インターネット・電子メール」の比率は増加傾向にあるものの、前回調査においても「テレビ（一般放送）」、「一般図書・新聞・雑誌」の比率が高くなっており、情報の入手方法については大きな変化が見られない。

問36 情報の入手方法（複数回答3）

（単位：%）

	平成13年	平成18年
一般図書・新聞・雑誌	65.8	62.2
録音・点字図書	0.9	0.6
インターネット・電子メール *1	4.2	10.0
携帯電話・携帯メール *2	2.8	4.4
ファックス	1.2	1.4
テレビ（一般放送）	82.2	78.5
手話放送・字幕放送	2.1	2.2
ラジオ	20.1	17.2
市民しんぶん	31.1	27.6
家族・友人	41.1	39.4
その他	4.0	4.3
不明・無回答	5.4	6.7
合計	260.9	254.5
N	951	879

*1 平成13年は「ホームページ・電子メール」

*2 平成13年は「携帯電話」

- ・ 障害の種類別では、いずれの障害においても「テレビ」の比率は高いが、「視覚障害」において「ラジオ」の比率が他の障害に比べて高くなっている。

問6 障害の種類 × 問36 情報の入手方法（複数回答3）

上段：実数（件）
下段：構成比（%）

問6 障害の種類	問36 情報の入手方法（複数回答3）											不明・無回答	回答者総数
	1. 一般図書・新聞・雑誌	2. 録音・点字図書	3. インターネット・電子メール	4. 携帯電話・携帯メール	5. ファックス	6. テレビ	7. 手話放送・字幕放送	8. ラジオ	9. 市民しんぶん	10. 家族・友人	11. その他		
1. 視覚障害	23 38.3	4 6.7	7 11.7	0 0.0	0 0.0	41 68.3	0 0.0	21 35.0	13 21.7	28 46.7	1 1.7	5 8.3	60 100.0
2. 聴覚障害	54 65.9	0 0.0	10 12.2	11 13.4	7 8.5	47 57.3	17 20.7	2 2.4	22 26.8	25 30.5	1 1.2	7 8.5	82 100.0
3. 肢体不自由	245 60.6	0 0.0	46 11.4	14 3.5	2 0.5	326 80.7	0 0.0	82 20.3	106 26.2	162 40.1	21 5.2	21 5.2	404 100.0
4. 内部障害	209 69.7	1 0.3	25 8.3	14 4.7	3 1.0	253 84.3	2 0.7	44 14.7	96 32.0	119 39.7	14 4.7	18 6.0	300 100.0
不明・無回答	16 48.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	23 69.7	0 0.0	2 6.1	6 18.2	12 36.4	1 3.0	8 24.2	33 100.0
回答者総数	547 62.2	5 0.6	88 10.0	39 4.4	12 1.4	690 78.5	19 2.2	151 17.2	243 27.6	346 39.4	38 4.3	59 6.7	879 100.0

8. 災害時の対応

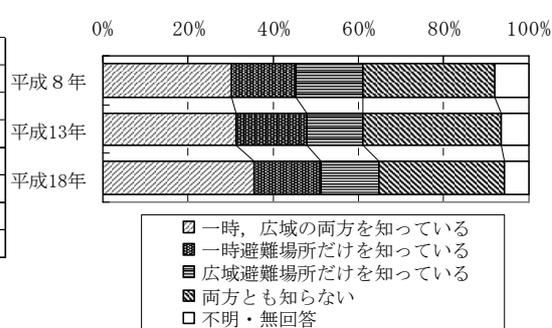
(1) 避難場所の認知

問37 あなたは、火事や地震などの災害時に避難する場所として、あなたの地域に「一時避難場所」や「広域避難場所」があることを知っていますか。

- ・ 今回調査では、「一時、広域の両方を知っている」が35.5%で最も多く、次いで「両方とも知らない」が29.5%となっており、知っている人と知らない人が二分している。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて避難場所の認知度は上昇していることが分かる。

問37 避難場所の認知

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
一時、広域の両方を知っている	30.2	31.4	35.5
一時避難場所だけを知っている	15.1	16.4	15.8
広域避難場所だけを知っている	15.9	13.4	13.4
両方とも知らない	30.7	32.2	29.5
不明・無回答	8.1	6.6	5.8
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879



(2) 災害時の単独避難の可否

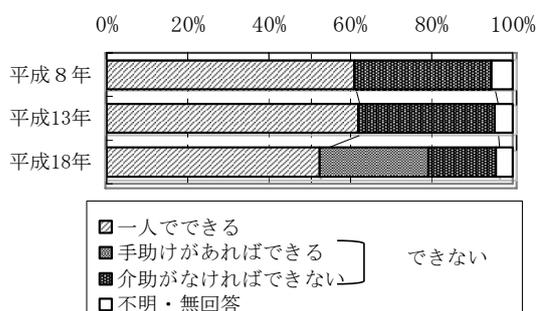
問38 あなたは、災害時、家の外に逃げるができますか。

- ・ 今回調査では、「一人でできる」が52.4%、「手助けがあればできる」が26.7%、「介助がなければできない」が16.7%と続いている。
- ・ 経年的には、「一人でできる」の比率が減少し、「一人でできない（手助けがあればできる＋介助がなければできない）」の比率は増加している。

問38 災害時の単独避難の可否 *

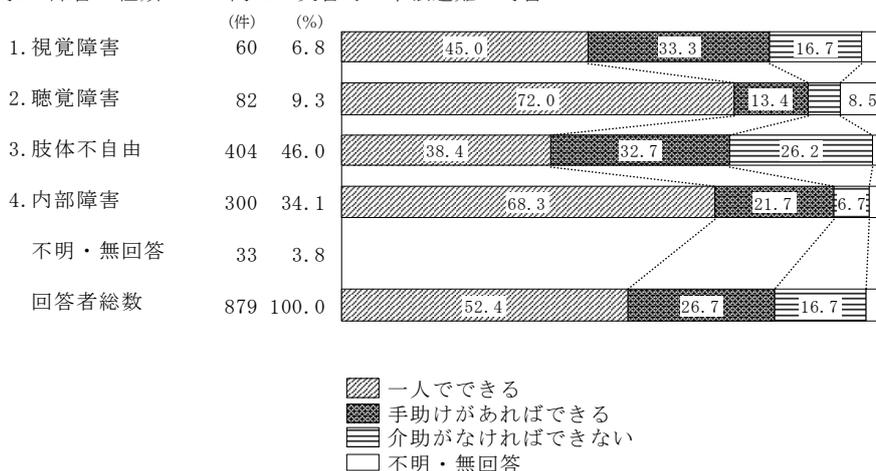
	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
一人でできる	61.0	61.9	52.4
手助けがあればできる			26.7
介助がなければできない	33.7	33.5	16.7
不明・無回答	5.2	4.5	4.1
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879

* 平成18年以外は「できる」「できない」の二択



- ・ 障害の種類別では、「視覚障害」と「肢体不自由」において「一人でできない（手助けがあればできる＋介助がなければできない）」の比率が高くなっている。

問6 障害の種類 × 問38 災害時の単独避難の可否



(3) 自主防災組織の認知

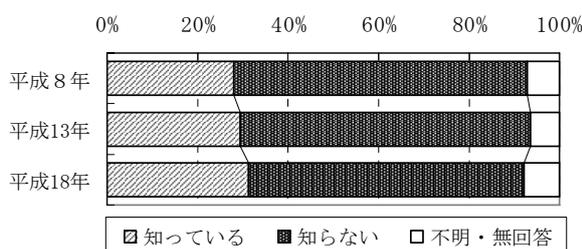
問39 災害に巻き込まれた時、地域の住民同士で助け合うことを目的とした「自主防災組織」が、市内の各地域で結成されていることを、あなたは知っていますか。

- ・ 今回調査では、「知っている」が31.4%、「知らない」が60.8%となっている。
- ・ 経年的には、「知っている」の比率が増加しており、「知らない」の比率は減少するなど、認知度は上昇している傾向が見られる。

問39 自主防災組織の認知

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
知っている	27.8	29.5	31.4
知らない	65.1	63.9	60.8
不明・無回答	7.1	6.5	7.8
合計	100.0	100.0	100.0
N	996	951	879



(4) 自主防災組織への参加状況

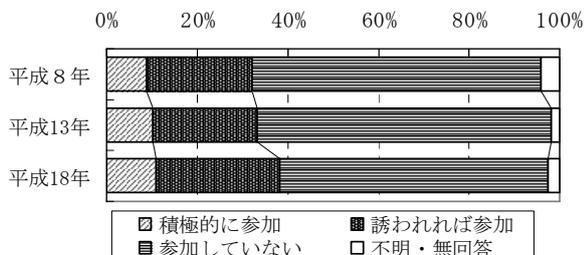
問40-1 (「問39」で「1. 知っている」とお答えの方) あなたは、自主防災組織の活動に参加されていますか。

- ・ 今回調査では、「参加していない」が59.4%と約6割を占め、「誘われれば参加」が27.2%、「積極的に参加」が10.9%と続いている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて「参加していない」の比率が低下し、「誘われれば参加」の比率が増加している。

問40-1 自主防災組織の活動への参加状況

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
積極的に参加	8.7	10.0	10.9
誘われれば参加	23.5	23.1	27.2
参加していない	63.9	65.1	59.4
不明・無回答	4.0	1.8	2.5
合計	100.0	100.0	100.0
N	277	281	276



(5) 災害時の不安

問41 あなたは、災害に巻き込まれた時、どのようなことに不安を感じますか。主なものを2つまでお答えください。

- ・ 「自分で避難ができない」が40.2%で最も多く、次いで「医療器具の使用・服薬ができなくなる」が30.0%、「初期消火ができない」が24.7%などと続いている。

問41 災害時の不安〈複数回答2〉

(単位:%)

	平成18年
自分で避難ができない	40.2
初期消火ができない	24.7
医療器具の使用・服薬ができなくなる	30.0
避難所での滞在	11.8
情報の取得	11.4
その他	7.2
特にない	18.4
不明・無回答	11.9
合計	155.6
N	879

- ・ 障害の種類別では、「視覚障害」、「肢体不自由」においては、「自分で避難ができない」の比率が最も高くなっているが、「聴覚障害」では「情報の取得」、また「内部障害」では「医療器具の使用・服薬ができなくなる」の比率が最も高くなっている。

問6 障害の種類 × 問41 災害時の不安〈複数回答2〉

上段：実数(件)
下段：構成比(%)

問41		災害時の不安〈複数回答2〉							回答者総数	
問6		1. 自分で避難 ができない	2. 初期消火が できない	3. 医療器具の 使用・服薬 ができなくな る	4. 避難所での 滞在	5. 情報の取得	6. その他	7. 特にない		
障害 の 種 類	1. 視覚障害	31 51.7	21 35.0	11 18.3	6 10.0	6 10.0	1 1.7	10 16.7	8 13.3	60 100.0
	2. 聴覚障害	13 15.9	13 15.9	17 20.7	6 7.3	25 30.5	9 11.0	19 23.2	14 17.1	82 100.0
	3. 肢体不自由	219 54.2	113 28.0	96 23.8	60 14.9	24 5.9	25 6.2	72 17.8	34 8.4	404 100.0
	4. 内部障害	77 25.7	55 18.3	133 44.3	32 10.7	41 13.7	26 8.7	56 18.7	42 14.0	300 100.0
	不明・無回答	13 39.4	15 45.5	7 21.2	0 0.0	4 12.1	2 6.1	5 15.2	7 21.2	33 100.0
	回答者総数	353 40.2	217 24.7	264 30.0	104 11.8	100 11.4	63 7.2	162 18.4	105 11.9	879 100.0

9. 福祉施設の利用及び福祉施策への要望など

(1) 悩みごとの相談先

問42 あなたは、障害のことなどで悩んだり心配した時、また福祉サービスに関する情報を知りたい時、どのようなところに相談されますか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「福祉事務所など市の専門機関」が62.6%で最も多く、次いで「医療機関」が45.8%、「家族・知人」が40.2%などと続いている。
- ・ 経年的に見ても、「福祉事務所など市の専門機関」や「医療機関」、「家族・知人」の比率は高くなっている。

問42 悩みごとの相談先〈複数回答3〉

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
福祉事務所など市の専門機関	65.9	66.4	62.6
障害のある市民団体	4.4	3.3	3.8
民生委員・児童委員	15.8	13.9	9.2
身体障害者相談員	9.3	12.1	13.4
社会福祉施設職員	7.0	9.9	11.1
障害者地域生活支援センター*	-	3.8	4.9
ホームヘルパー	3.3	5.5	9.1
ボランティア	1.2	0.7	0.9
学校・会社	-	1.9	1.3
医療機関	-	48.5	45.8
家族・知人	46.6	43.2	40.2
その他	7.7	4.1	5.9
不明・無回答	21.5	9.4	9.6
合計	182.7	222.7	217.7
N	996	951	879

* 平成13年は「障害者生活支援センター」2.3%と「地域生活支援センター」1.5%の合算

(2) 今後の相談内容

問43 あなたは、今後どのような相談をしたいと思いますか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「医療・健康のこと」が72.2%で最も多く、次いで「福祉サービスの利用・介助のこと」が52.8%となっており、この両者が相談の主な内容となっている。
- ・ 経年的には、「医療・健康のこと」は、いずれの年の調査においても高い比率となっている。

問43 今後の相談内容（複数回答3）

（単位：%）

	平成8年	平成13年	平成18年
医療・健康のこと	56.6	72.1	72.2
教育のこと	1.0	1.2	1.0
仕事のこと	10.6	12.5	7.6
収入のこと	20.2	20.8	22.3
福祉サービスの利用・介助のこと*	25.7	50.2	52.8
日常生活での悩みのこと	17.5	21.3	20.0
災害時の避難方法などのこと	23.3	22.9	23.1
その他	5.9	5.7	6.0
不明・無回答	28.7	11.5	11.9
合計	189.5	218.2	217.1
N	996	951	879

* 平成8年は「介助のこと」

(3) 利用を希望する施設・障害者施策

問44 あなたは、どのような施設や障害者施策の利用を希望されますか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 「障害者地域生活支援センター」が35.9%で最も多く、次いで「老人ホームなどの施設」が33.3%、「ショートステイ」が24.3%、「ホームヘルプサービス」が24.2%などと続いている。

問44 利用を希望する施設・障害者施策（複数回答3）
（単位：%）

	平成18年
障害者地域生活支援センター	35.9
ホームヘルプサービス	24.2
ショートステイ	24.3
ガイドヘルパー	7.4
重度障害者等包括支援	7.6
デイサービス	13.0
就労移行支援，職業訓練校	1.8
授産施設，福祉工場，共同作業所	1.4
自立訓練を行う施設	2.8
施設入所支援	10.2
ケアホーム，福祉ホーム	4.0
重度心身障害児（者）施設	1.9
公営住宅	14.6
老人ホームなどの施設	33.3
スポーツ施設	6.9
サークル活動，文化活動などのできる施設	8.9
その他	3.1
不明・無回答	16.5
合 計	218.0
N	879

第3章 身体障害者生活状況調査（18歳以上）結果

- ・ 障害の種類別では、「視覚障害」においては「老人ホームなどの施設」や「障害者地域生活支援センター」などの比率が高く、また「聴覚障害」では「障害者地域生活支援センター」の比率が、「肢体不自由」では「障害者地域生活支援センター」、「老人ホームなどの施設」が、「内部障害」では「障害者地域生活支援センター」、「老人ホームなどの施設」がそれぞれ30%を超えている。

問6 障害の種類 × 問44 利用を希望する施設・障害者施策（複数回答3）

		利用を希望する施設・障害者施策（複数回答3）											上段：実数（件）	下段：横構成比（%）
問44		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	12.	
問6		障害者地域生活支援センター	ホームヘルプサービス	ショートステイ	ガイドヘルパー	重度障害者等包括支援	デイサービス	就労移行支援、職業訓練校	授産施設、福祉工場、共同作業所	自立訓練を行う施設	施設入所支援	ケアホーム、福祉ホーム	重度障害が重複する方が、治療や日常生活の指導を受ける施設	
障害の種類	1. 視覚障害	22 36.7	14 23.3	17 28.3	12 20.0	2 3.3	6 10.0	3 5.0	0 0.0	1 1.7	4 6.7	3 5.0	1 1.7	
	2. 聴覚障害	29 35.4	13 15.9	15 18.3	5 6.1	4 4.9	13 15.9	0 0.0	2 2.4	3 3.7	9 11.0	2 2.4	1 1.2	
	3. 肢体不自由	139 34.4	119 29.5	106 26.2	32 7.9	44 10.9	61 15.1	6 1.5	8 2.0	10 2.5	52 12.9	16 4.0	12 3.0	
	4. 内部障害	118 39.3	62 20.7	68 22.7	13 4.3	17 5.7	31 10.3	6 2.0	2 0.7	11 3.7	24 8.0	11 3.7	3 1.0	
	不明・無回答	8 24.2	5 15.2	8 24.2	3 9.1	0 0.0	3 9.1	1 3.0	0 0.0	0 0.0	1 3.0	3 9.1	0 0.0	
	回答者総数	316 35.9	213 24.2	214 24.3	65 7.4	67 7.6	114 13.0	16 1.8	12 1.4	25 2.8	90 10.2	35 4.0	17 1.9	

		利用を希望する施設・障害者施策（複数回答3）						上段：実数（件）	下段：横構成比（%）
問44		13.	14.	15.	16.	17.	不明・無回答	回答者総数	
問6		公営住宅	老人ホームなどの施設	スポーツ施設	サークル活動、文化活動などのできる施設	その他			
障害の種類	1. 視覚障害	8 13.3	24 40.0	1 1.7	2 3.3	0 0.0	12 20.0	60 100.0	
	2. 聴覚障害	10 12.2	20 24.4	7 8.5	14 17.1	2 2.4	16 19.5	82 100.0	
	3. 肢体不自由	70 17.3	136 33.7	27 6.7	32 7.9	16 4.0	46 11.4	404 100.0	
	4. 内部障害	38 12.7	106 35.3	24 8.0	28 9.3	7 2.3	56 18.7	300 100.0	
	不明・無回答	2 6.1	7 21.2	2 6.1	2 6.1	2 6.1	15 45.5	33 100.0	
	回答者総数	128 14.6	293 33.3	61 6.9	78 8.9	27 3.1	145 16.5	879 100.0	

(4) 福祉施策への要望

問45 あなたにとって、今後特に必要とされるもの、または強く望みたいことがらがありますか。次のうちから最も近いものを5つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「公的年金等所得保障の充実」が 52.8%、「医療費軽減等」が 47.1%、「障害者医療等医療制度の拡充」が 36.2%、「バリアフリーのまちづくり」が 33.0%などと続いている。
- ・ 経年的には、「医療費軽減等」や「障害者医療等医療制度の拡充」などの比率が少しずつ伸びている。

問45 福祉施策への要望（複数回答5）

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
専門的な機能回復訓練	11.9	13.5	12.6
医師等による訪問指導	12.1	13.5	11.8
医療費軽減等	27.9	41.5	47.1
障害者医療等医療制度の拡充	28.2	34.4	36.2
日常生活用具等改善, 開発	18.7	14.9	18.3
介助体制の充実	17.7	15.4	18.3
手話通訳, 点訳, ガイドヘルパー等の充実	4.0	3.5	4.2
障害状況に応じた職業訓練	4.3	4.5	2.7
障害のある人の雇用促進	10.9	10.5	7.1
公的年金等所得保障の充実	46.4	55.4	52.8
障害のある人に理解と関心をもつ	23.1	23.0	20.4
各種の相談事業の充実	8.4	9.1	8.8
バリアフリーのまちづくり	31.4	34.7	33.0
スポーツ, 文化活動等に参加したい	6.2	6.8	6.7
障害のある人の権利を守る施策	-	18.1	14.8
家族のリフレッシュ事業	-	15.5	15.2
その他	3.3	2.8	3.0
不明・無回答	29.4	16.9	16.7
合 計	259.9	334.0	329.7
N	996	951	879

第3章 身体障害者生活状況調査（18歳以上）結果

- ・ 障害の種類別では、いずれの障害においても「公的年金等所得保障の充実」が50%を超えている。それ以外の要望で比率の高い項目を見ると「聴覚障害」、「肢体不自由」、「内部障害」では「医療費軽減等」が50%程度を占めている。

問6 障害の種類 × 問45 福祉施策への要望（複数回答5）

問45		福祉施策への要望（複数回答5）											
		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	12.
		専門的な機能回復訓練	医師等による訪問指導	医療費軽減等	障害者医療等医療制度の拡充	日常生活用具等改善、開発	介助体制の充実	手話通訳、点訳、ガイドヘルパー等の充実	障害状況に応じた職業訓練	障害のある人の雇用促進	公的年金等所得保障の充実	障害のある人への理解と関心	各種の相談事業の充実
問6													
障害の種類	1. 視覚障害	3 5.0	5 8.3	15 25.0	14 23.3	13 21.7	16 26.7	4 6.7	3 5.0	7 11.7	33 55.0	13 21.7	7 11.7
	2. 聴覚障害	6 7.3	5 6.1	41 50.0	23 28.0	23 28.0	6 7.3	24 29.3	2 2.4	12 14.6	47 57.3	26 31.7	4 4.9
	3. 肢体不自由	80 19.8	53 13.1	197 48.8	171 42.3	77 19.1	92 22.8	7 1.7	11 2.7	28 6.9	219 54.2	70 17.3	35 8.7
	4. 内部障害	21 7.0	37 12.3	152 50.7	105 35.0	41 13.7	45 15.0	2 0.7	7 2.3	12 4.0	156 52.0	67 22.3	27 9.0
	不明・無回答	1 3.0	4 12.1	9 27.3	5 15.2	7 21.2	2 6.1	0 0.0	1 3.0	3 9.1	9 27.3	3 9.1	4 12.1
	回答者総数	111 12.6	104 11.8	414 47.1	318 36.2	161 18.3	161 18.3	37 4.2	24 2.7	62 7.1	464 52.8	179 20.4	77 8.8

問45		福祉施策への要望（複数回答5）						回答者総数
		13.	14.	15.	16.	17.	不明・無回答	
		バリアフリーのまちづくり	スポーツ、文化活動等への参加	障害のある人の権利を守る施策	家族のリフレッシュ事業	その他		
問6								
障害の種類	1. 視覚障害	21 35.0	2 3.3	12 20.0	6 10.0	1 1.7	12 20.0	60 100.0
	2. 聴覚障害	13 15.9	8 9.8	11 13.4	8 9.8	1 1.2	10 12.2	82 100.0
	3. 肢体不自由	163 40.3	24 5.9	64 15.8	72 17.8	16 4.0	52 12.9	404 100.0
	4. 内部障害	87 29.0	25 8.3	41 13.7	47 15.7	6 2.0	56 18.7	300 100.0
	不明・無回答	6 18.2	0 0.0	2 6.1	1 3.0	2 6.1	17 51.5	33 100.0
回答者総数	290 33.0	59 6.7	130 14.8	134 15.2	26 3.0	147 16.7	879 100.0	